

文政八年

乙酉

歳旦



門満門乃

地つぎぎぎ

と総中乃

如雪庵

青阿

春魚

青阿

あまのこゝろを道へ

あまのこゝろ

甲
果物

海老汁の 満り

あまのこゝろ
一名
梅我

潮乃舟

あまのこゝろ

あまのこゝろ

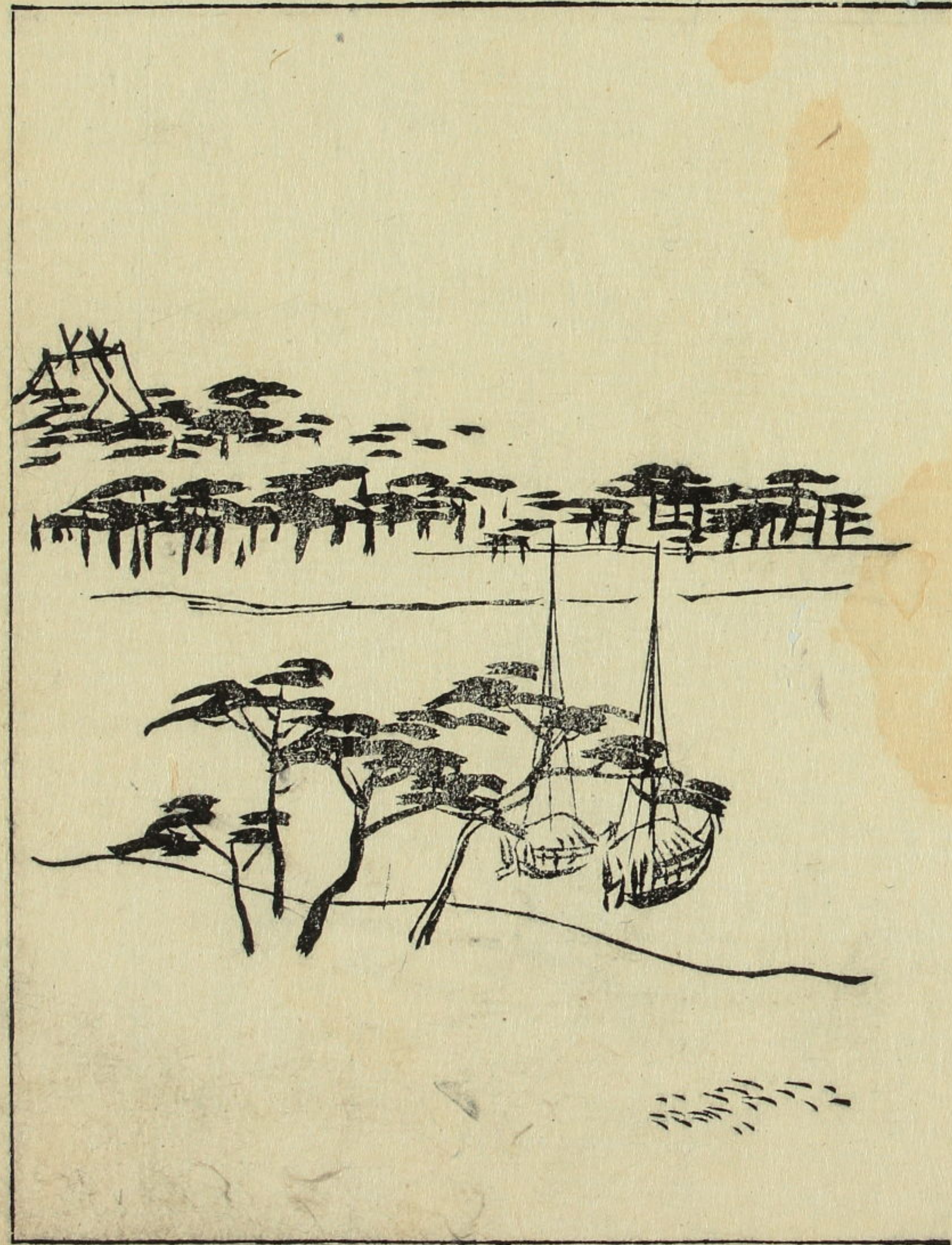
小船

三斜度



花曉女

栲山百





海津乃总
 非子
 事子
 浩之如
 不塞
 方以希

磯乃舟
 月夜
 片心也
 海客此宿
 春雪樓青峰



〃 〃





蓮

花

二
乃
花

里
う
花

通
心
路

東
舟



陽
炎
や

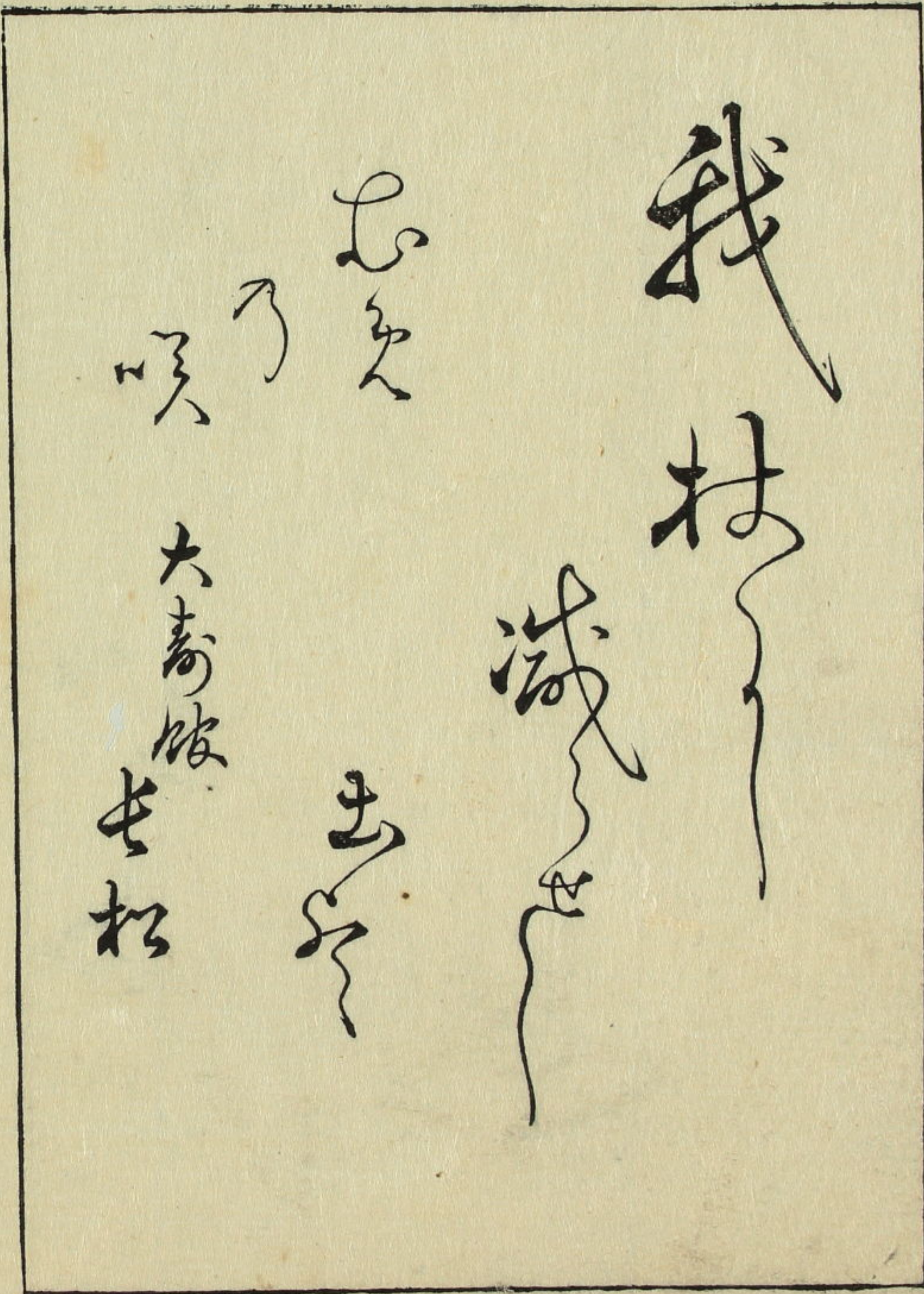
木
乃
實

ま
ま
の

鳥
乃
糞

遊
山



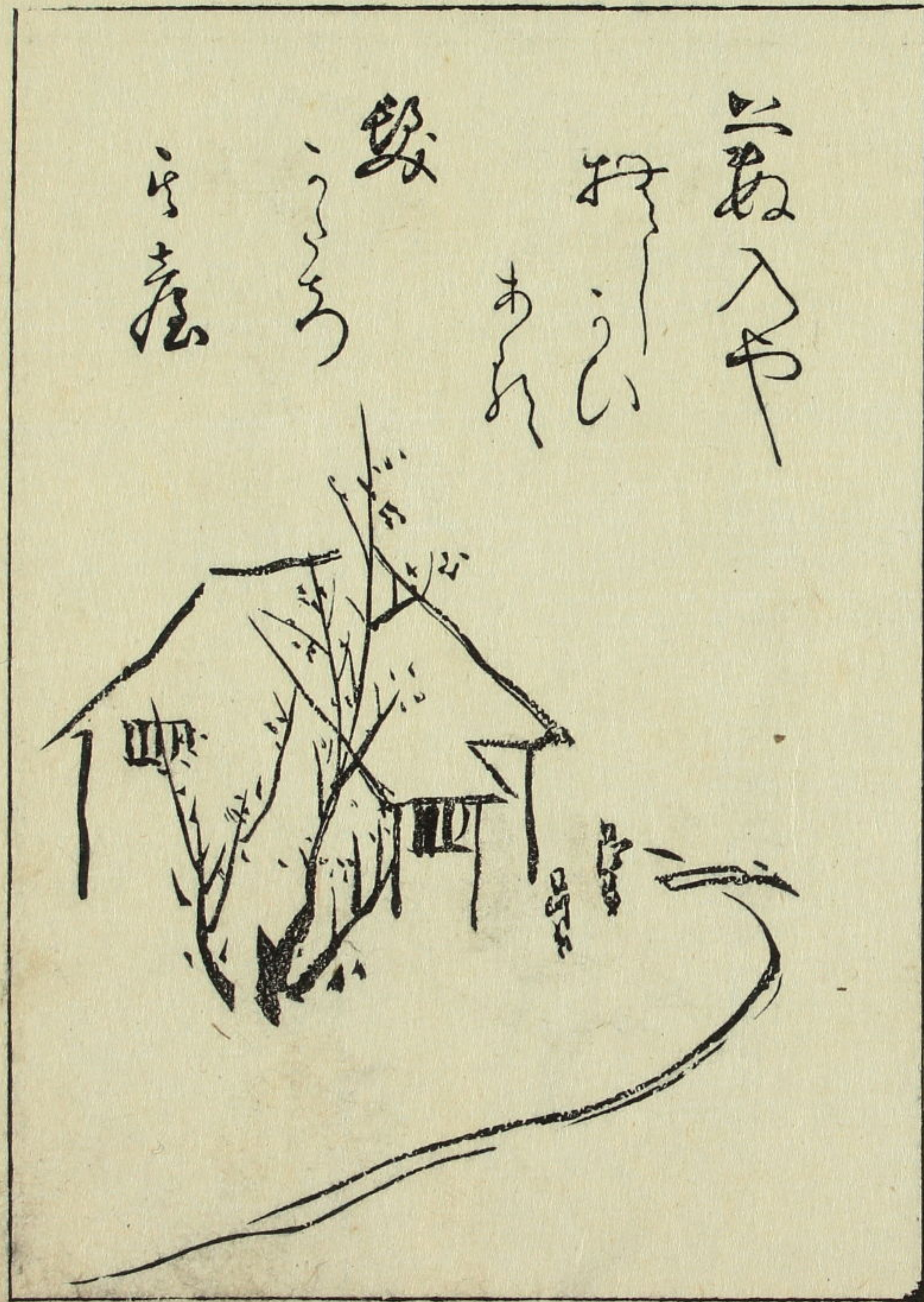


Calligraphy in the upper right corner:
大塚
慧心
信長
信長
信長
信長
信長
信長
信長

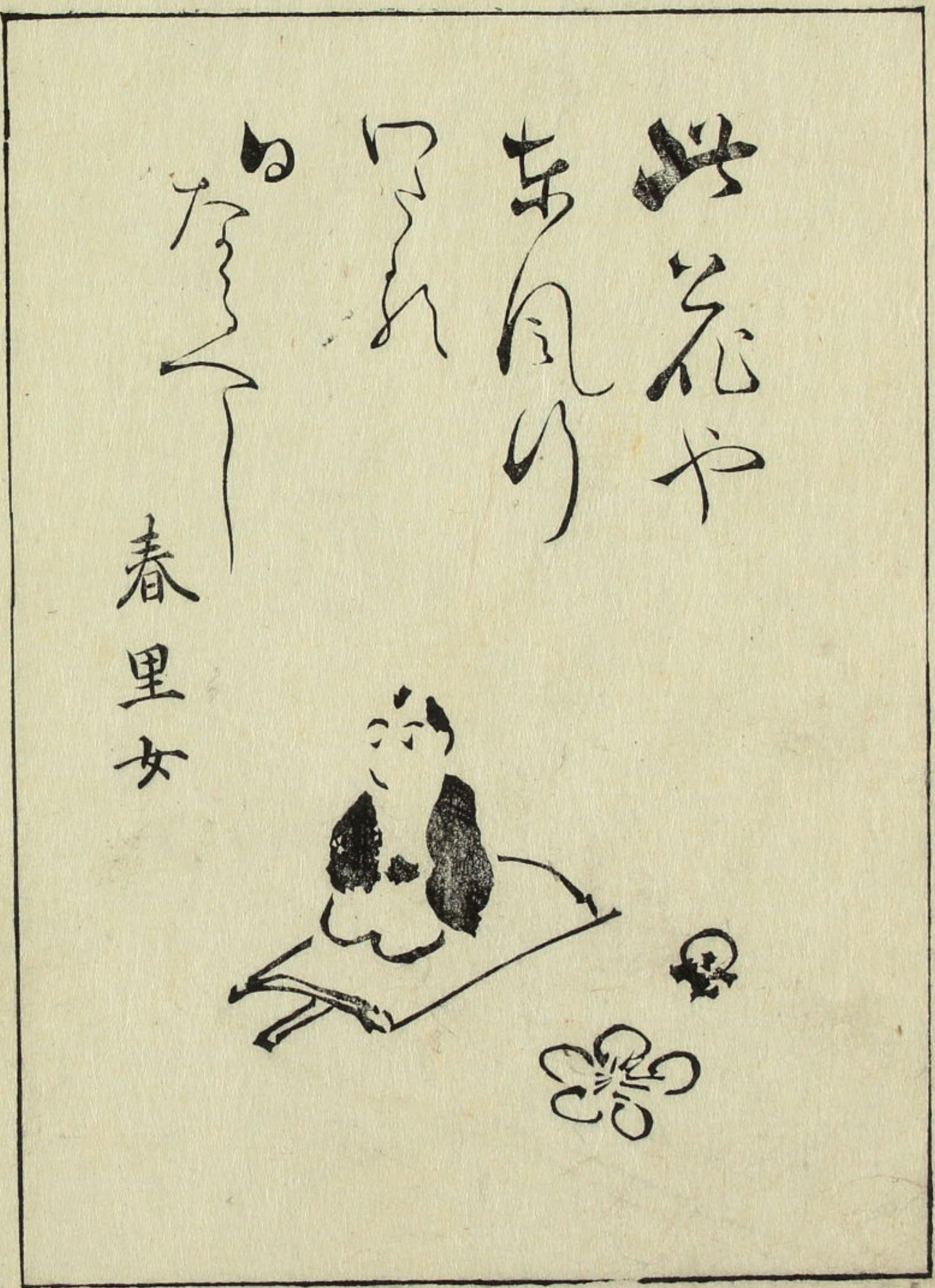
末醒

Calligraphy in the lower right corner:
春
雉子乃命
文龍

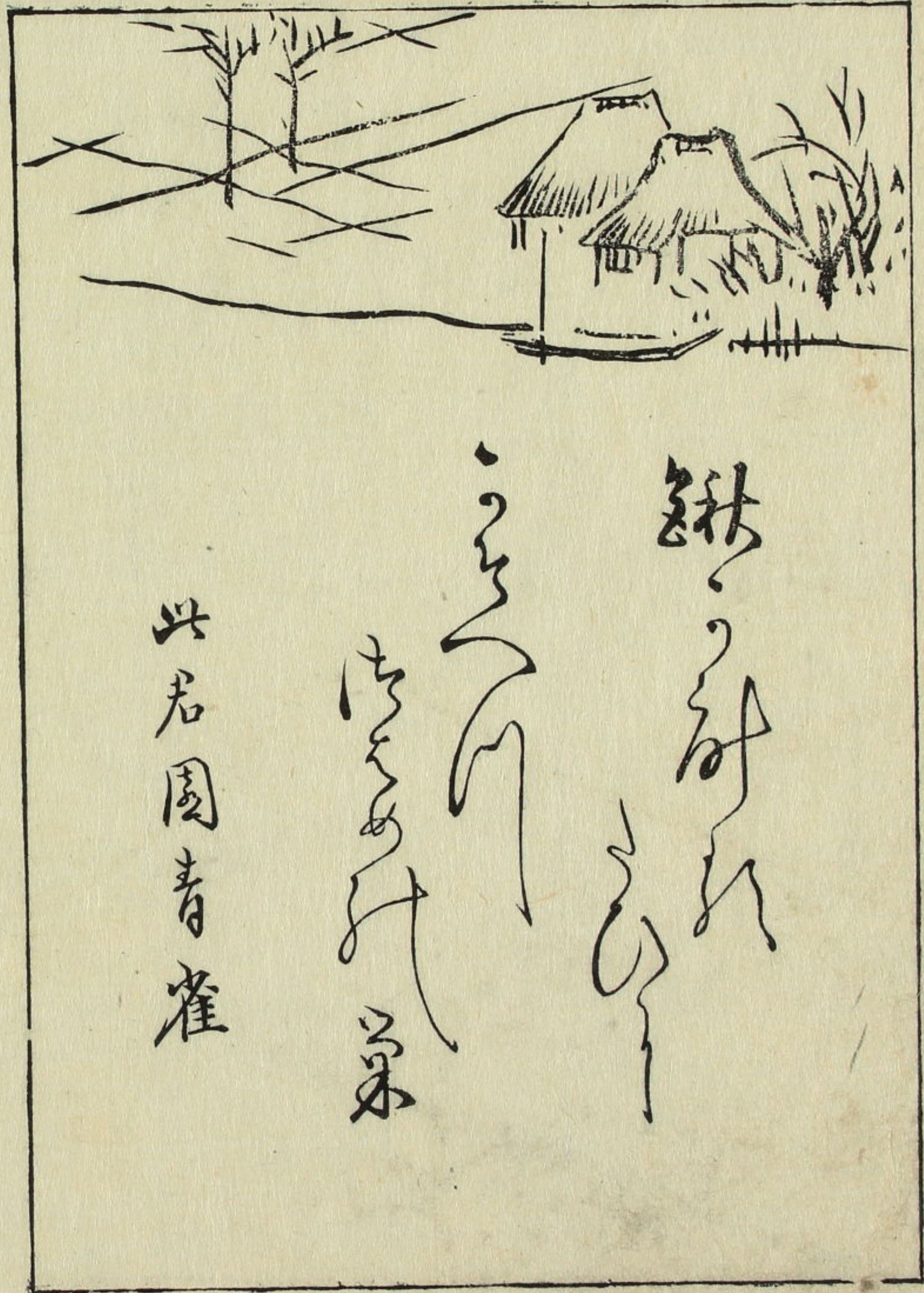
六

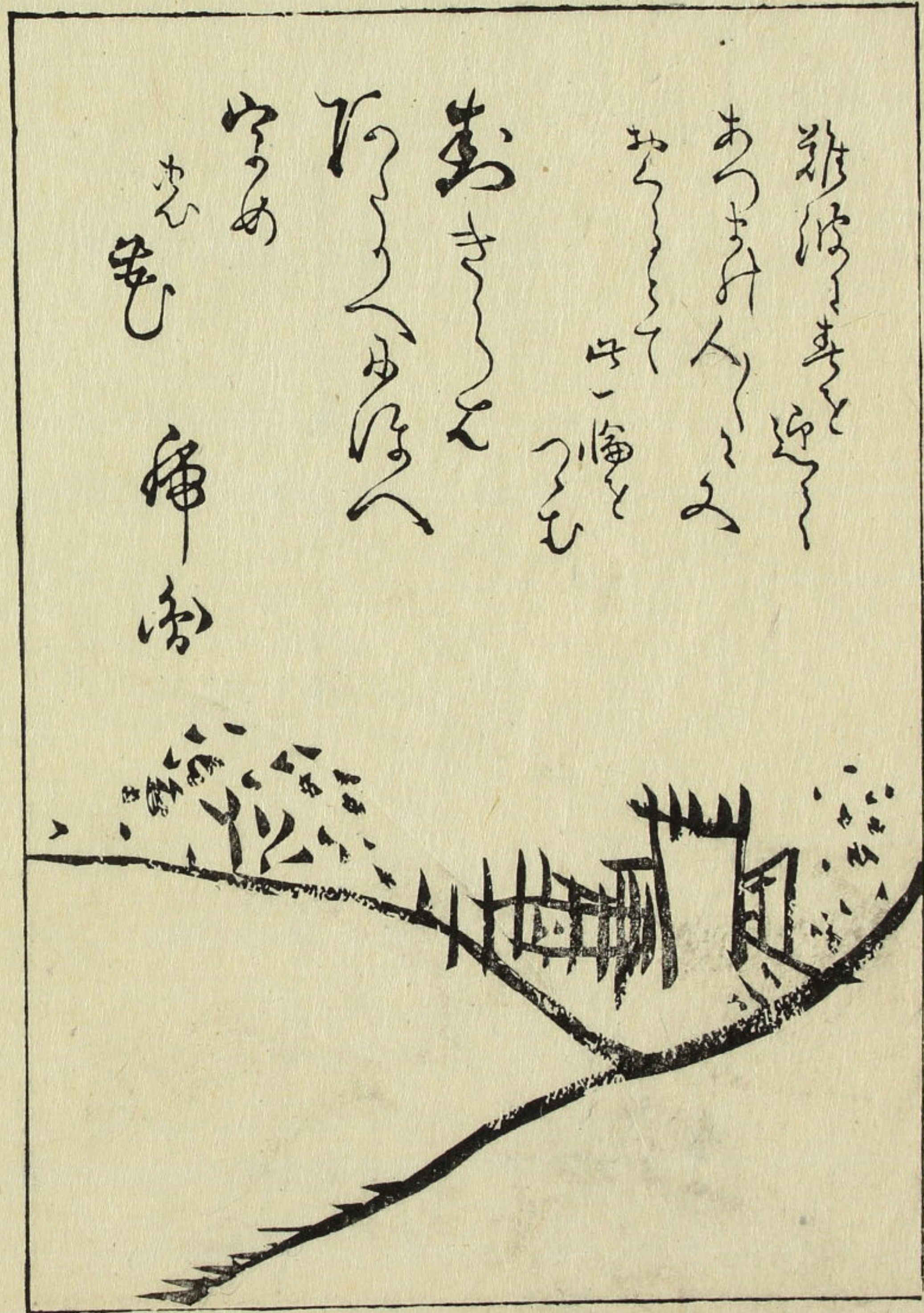
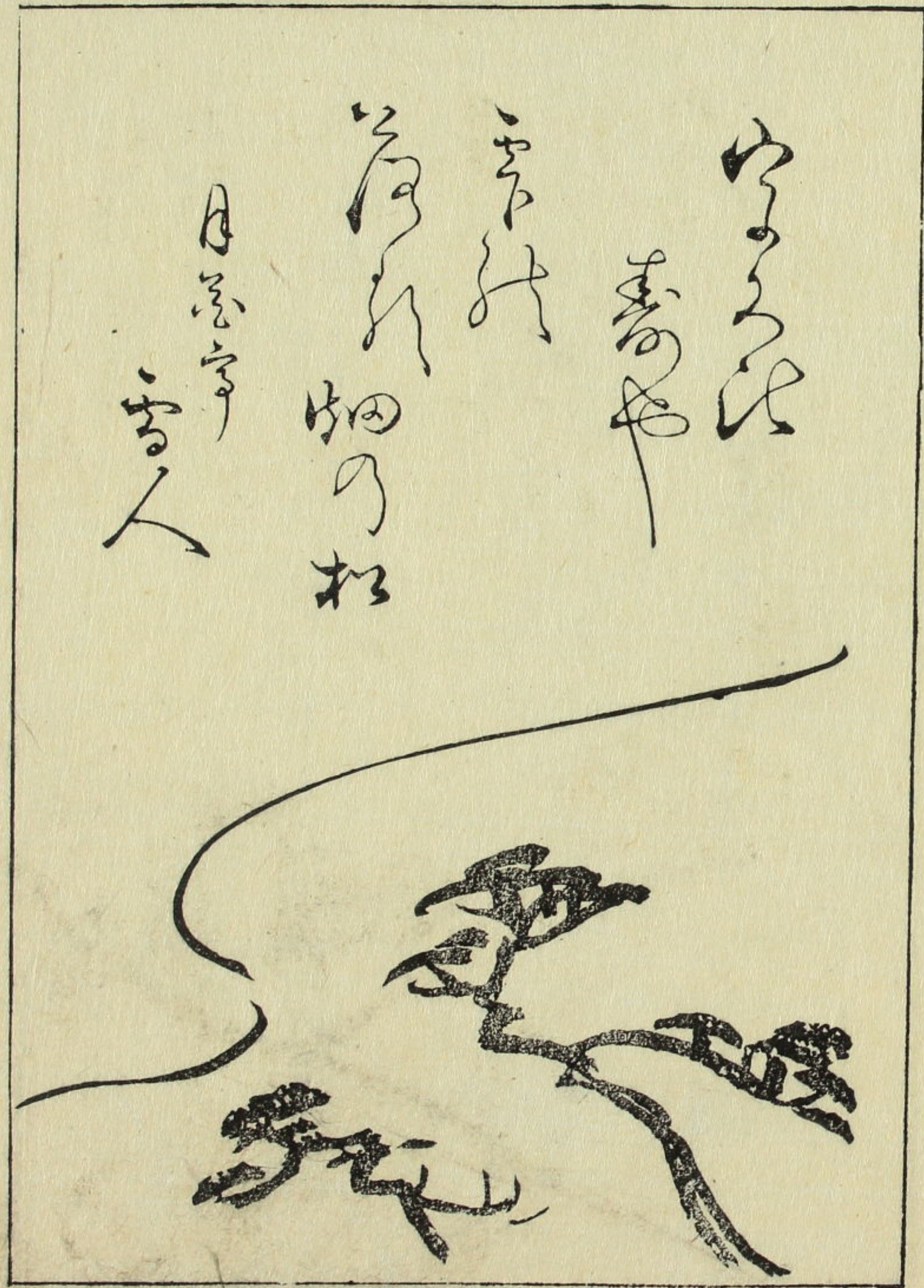


二番入也
 持心
 あり
 髪
 三
 三



此花や
 東風り
 空を
 吹く
 春里女

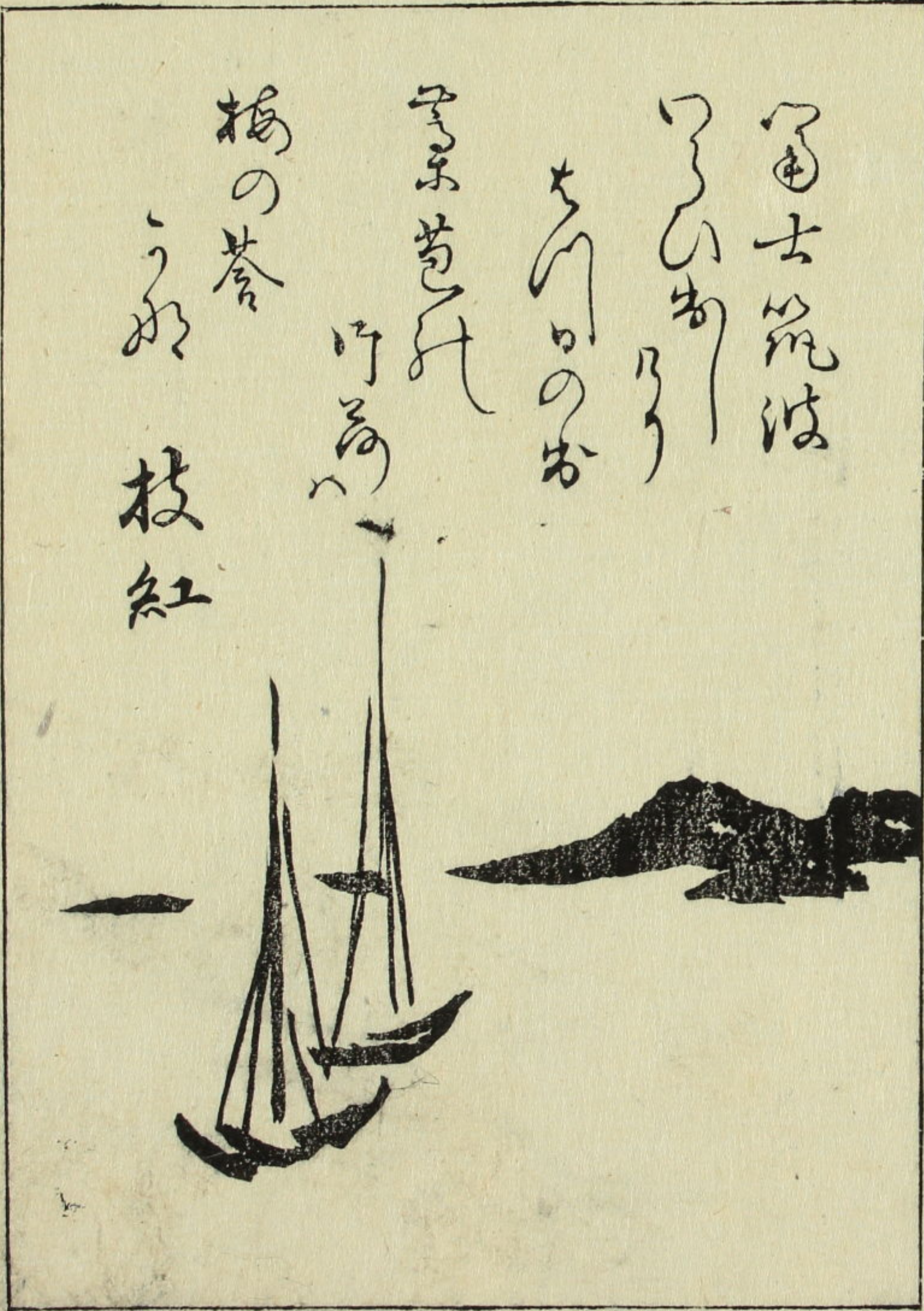




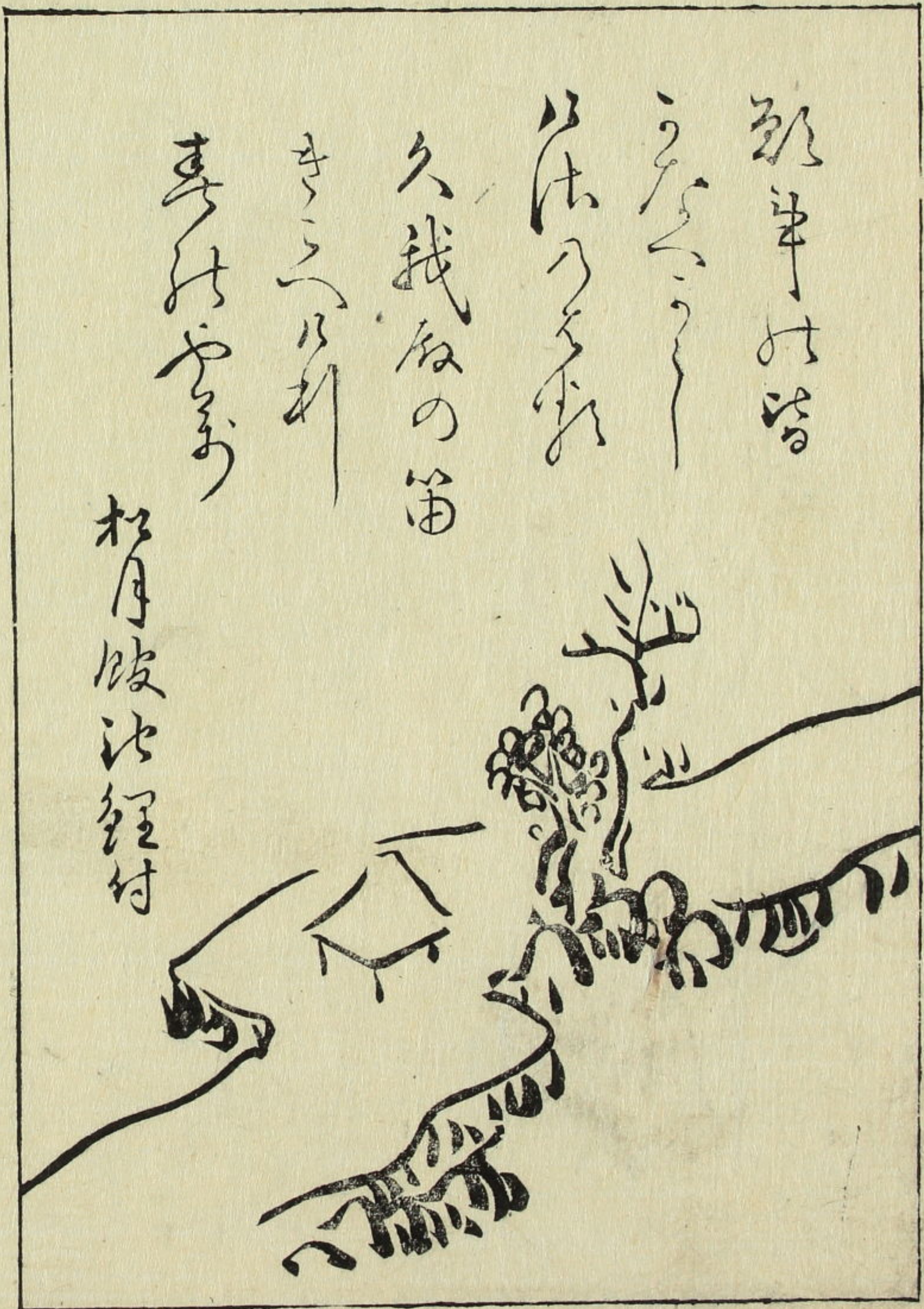
空門久し哉風の吹たり
 門能く伴 踏む
 おもひはき物なり
 おのほろひ道の心
 入門乃海 皓月梅桂園

子竹
 等乃
 浅樹
 朝
 月
 相
 真半恵
 青
 楊





富士筑波
 ついで物
 七人の女
 雪菜巻
 行舟
 梅の蒼
 とうめ 枝紅



歌半、お皆
 くらぶ
 比治うま
 久我飯の笛
 きふり新
 喜舟やま
 松月波池經付

画

~~~~~

那家

池の胡蝶

舞雪



生

~~~~~

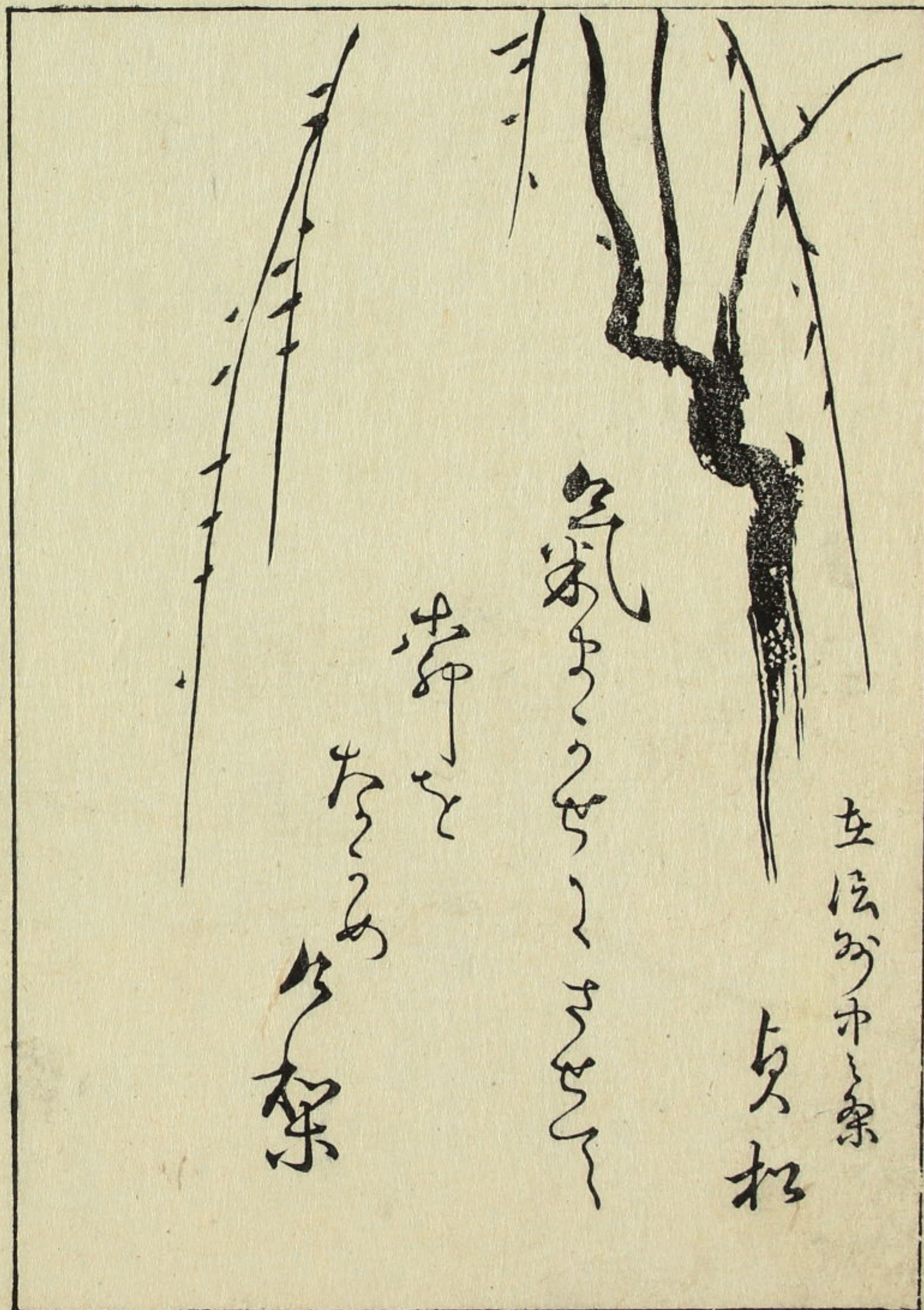
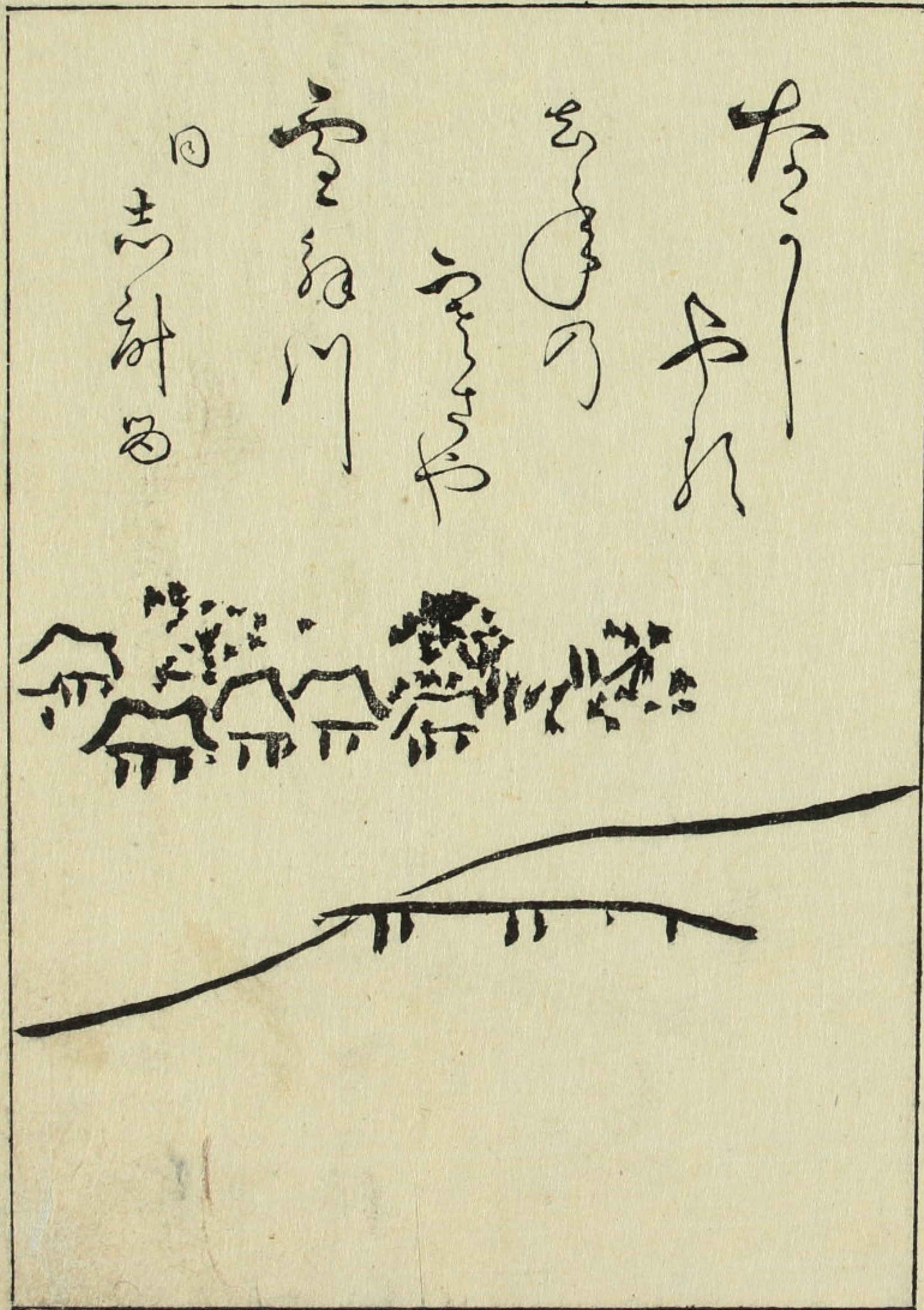
~~~~~

梅あり

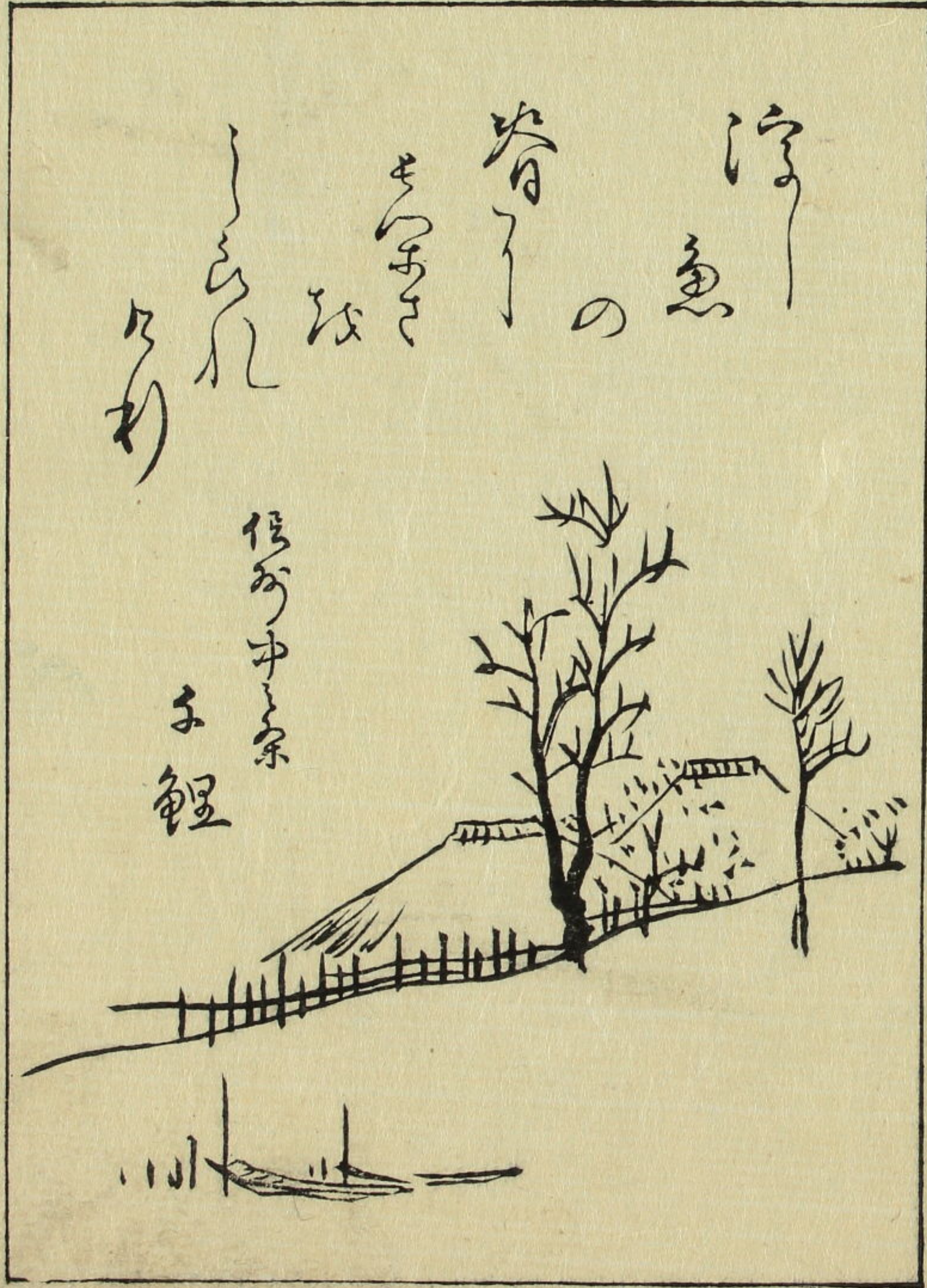
在信あり  
物我



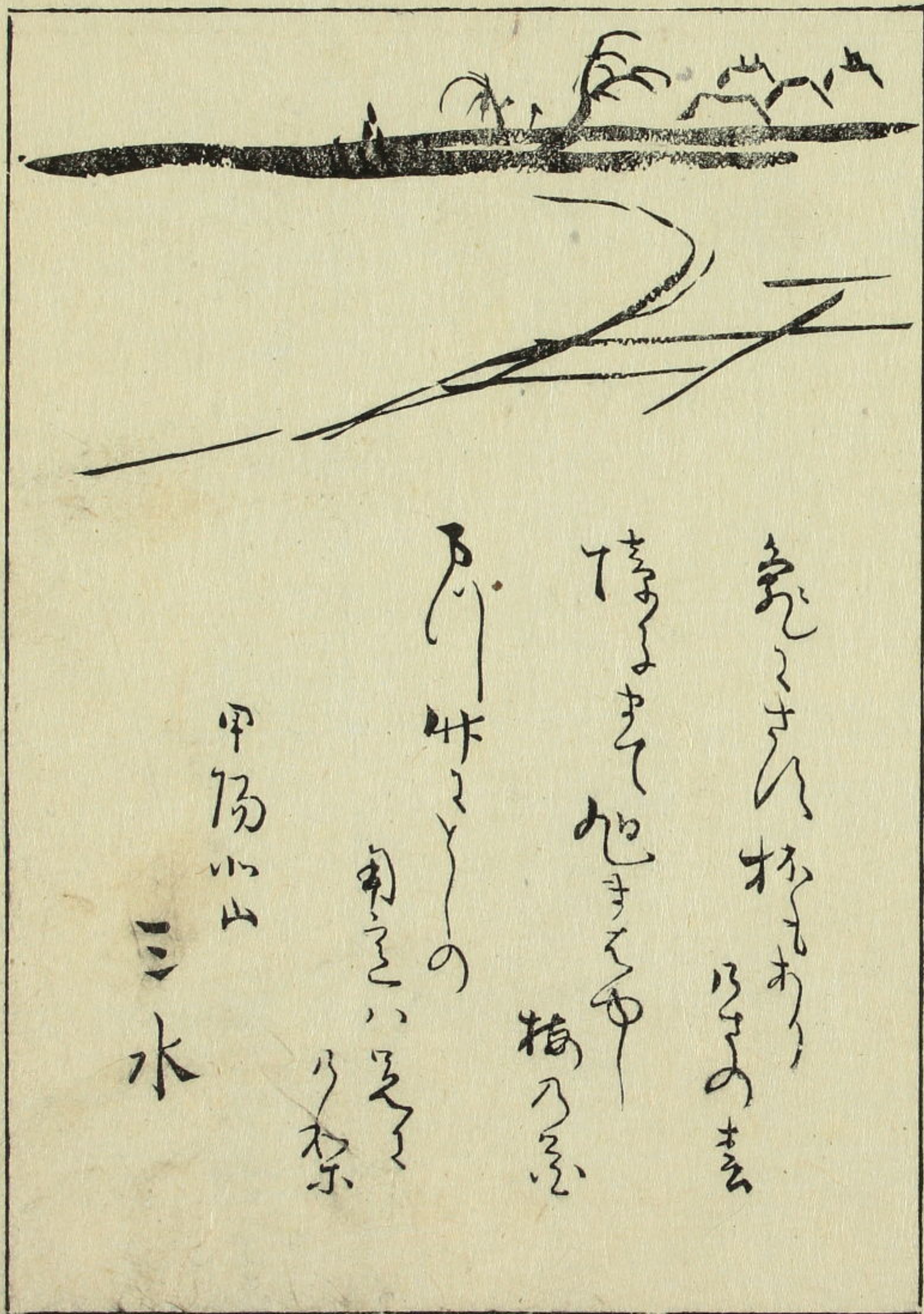










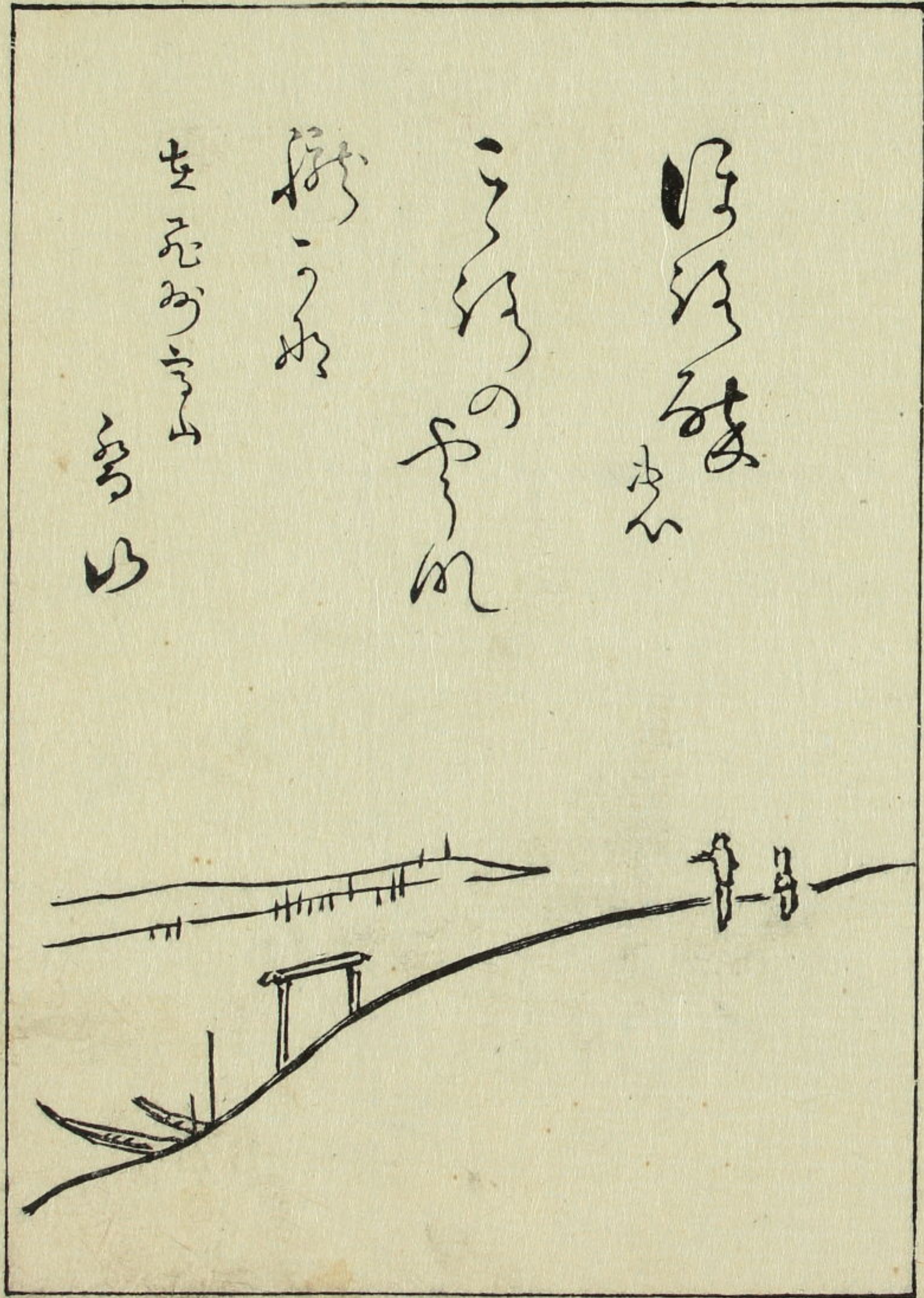


鳥さき 柳あり  
 乃のま  
 情まき 旭まき  
 梅乃  
 月 井の  
 菊 庭の  
 う 柵  
 甲陽山  
 三水



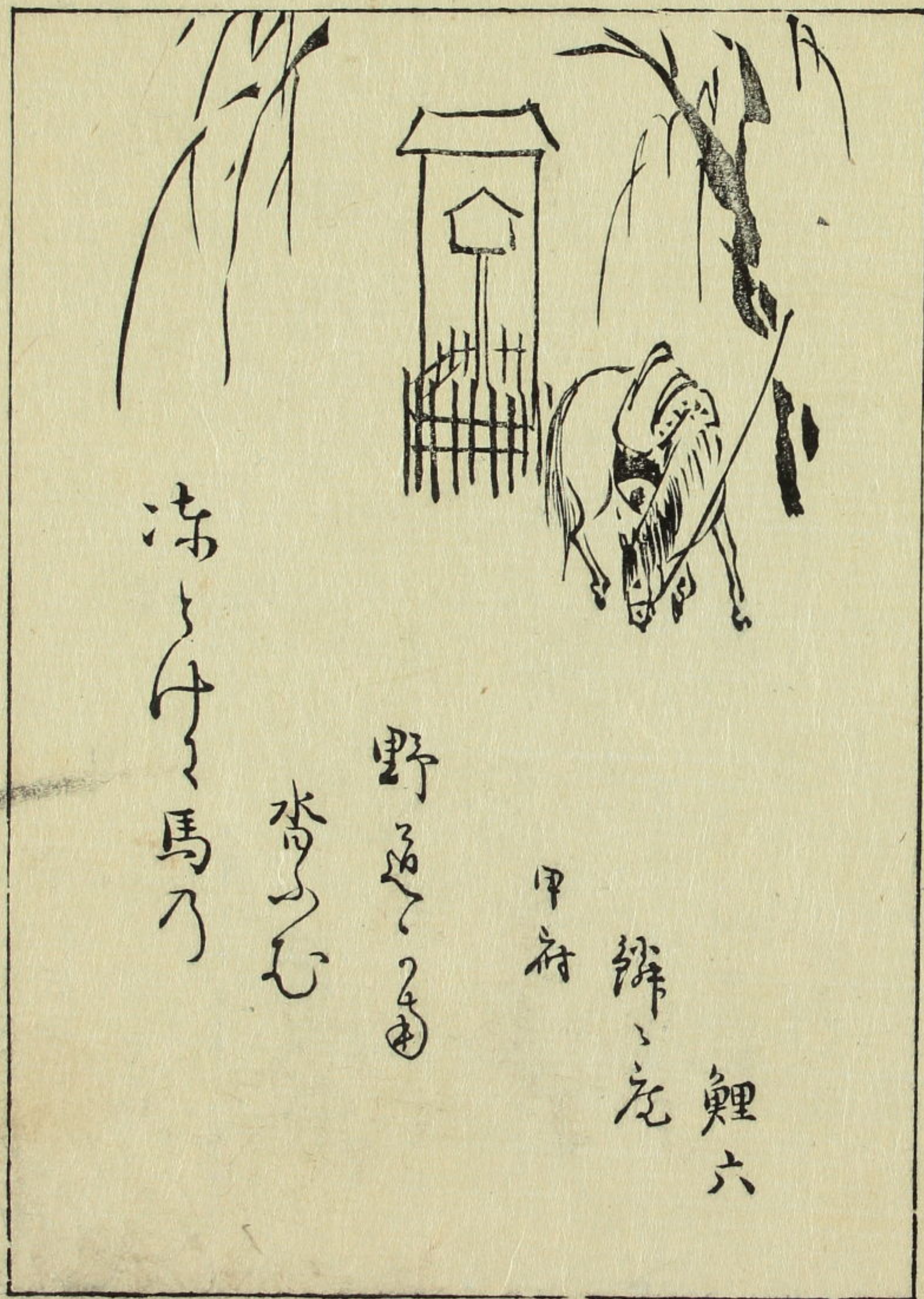
十の  
 月  
 ち  
 東河  
 並の河尾を  
 十五





十





凍  
馬乃

水  
乃

野  
乃

甲  
府

鱈  
乃

六



咲  
梅  
也

乃  
乃

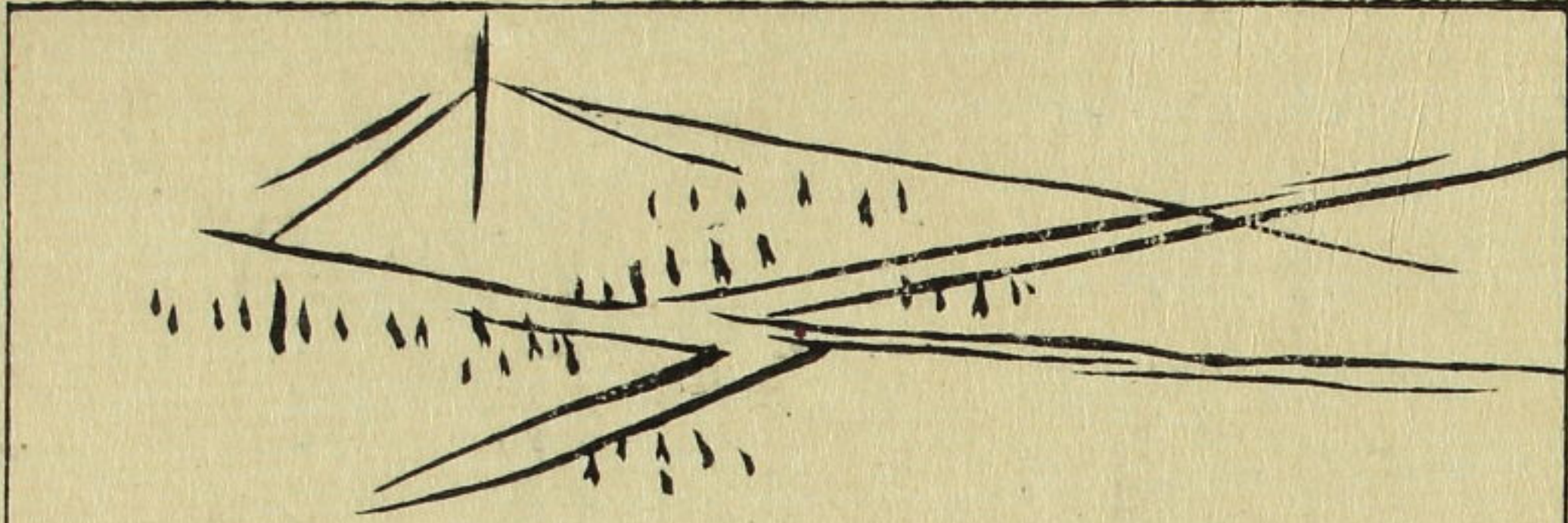
乃  
乃

鳥  
乃  
乃

甲  
府

虫  
橋  
庵  
魚  
雲





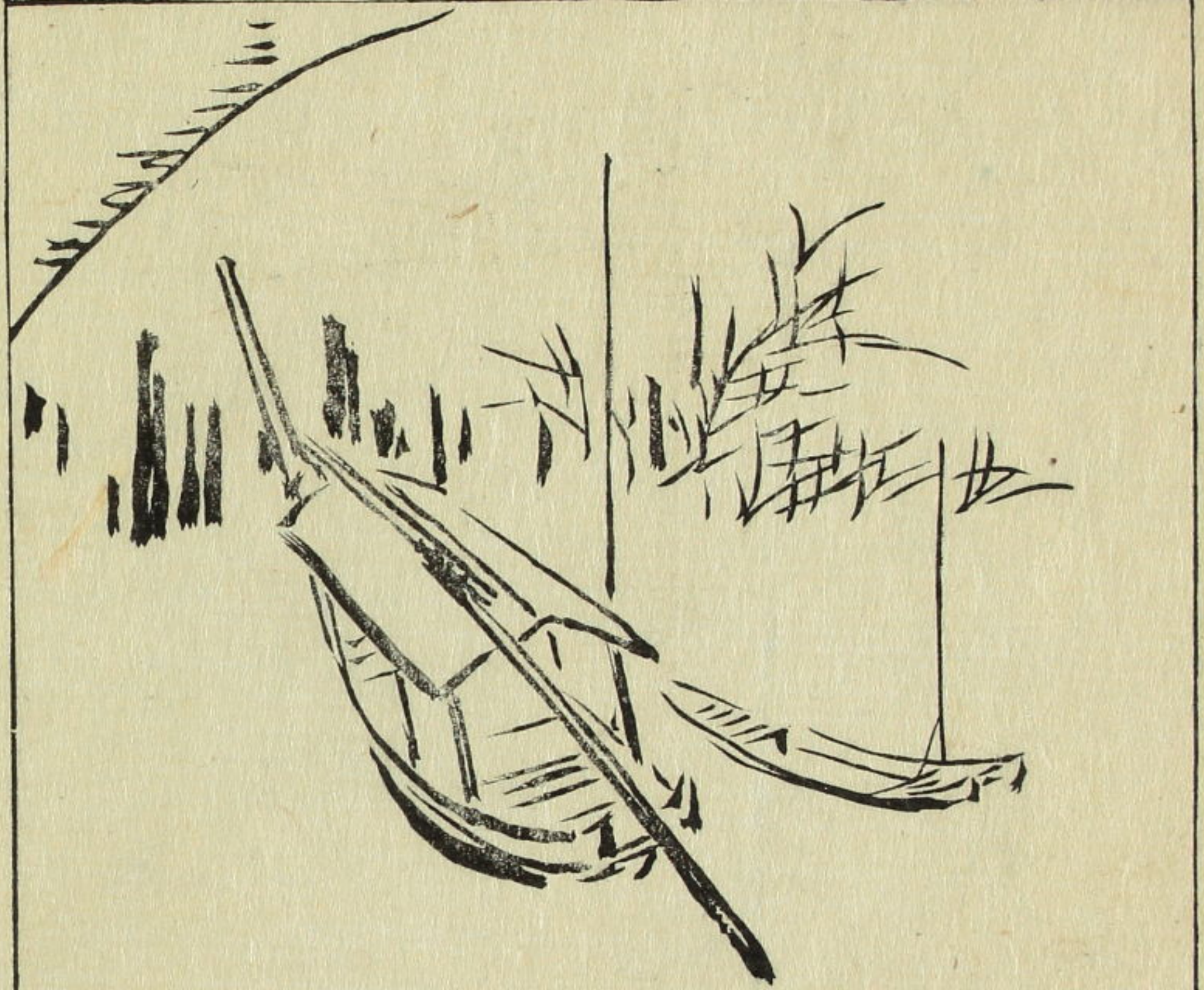
歌

ちろろあ

田 柳 ちろろ文字

甲 村 碧水亭 茂竹

林の空の田の地  
 音のひびく  
 きききききき  
 けいけいけい



ちろろ

ちろろ

ちろろ

ちろろ

甲 村

碧水亭

相 亭

十





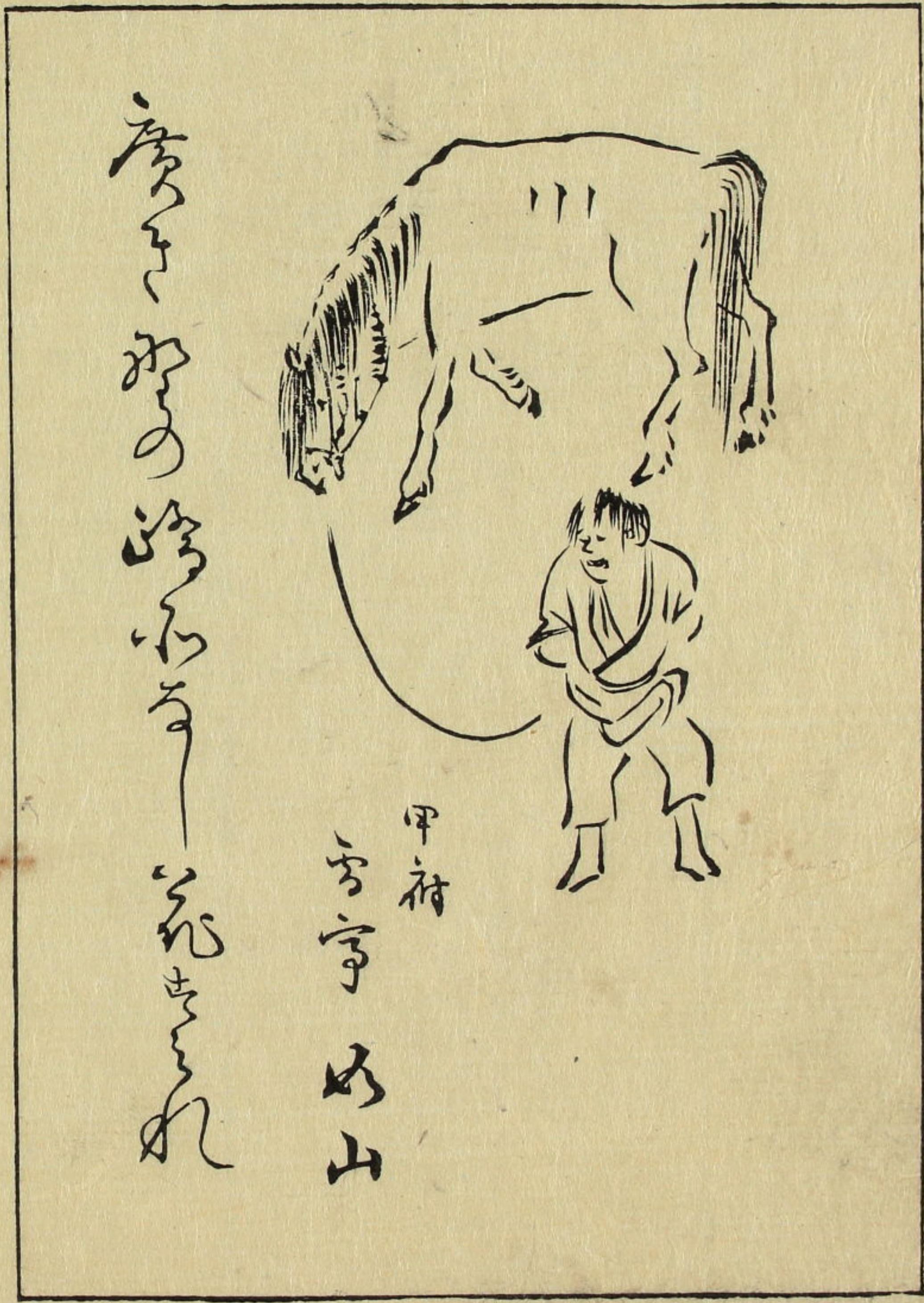
子代

奇

浦

甲府

東京



廣

甲府

方

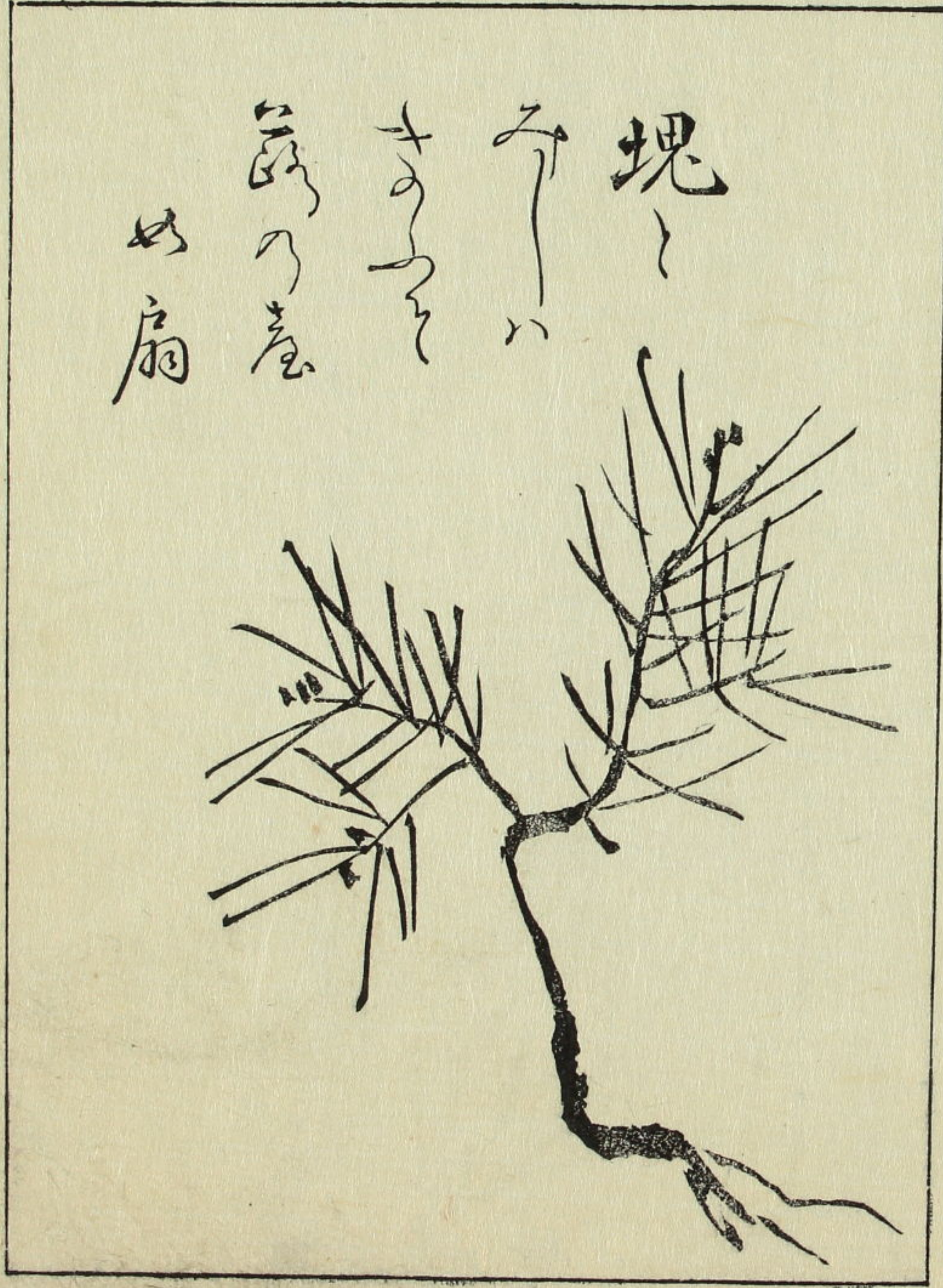


雨志  
 蘇光  
 春の  
 花  
 光



名  
 志  
 花













旅河の友合々々

旅々旅筆と

ひまわり

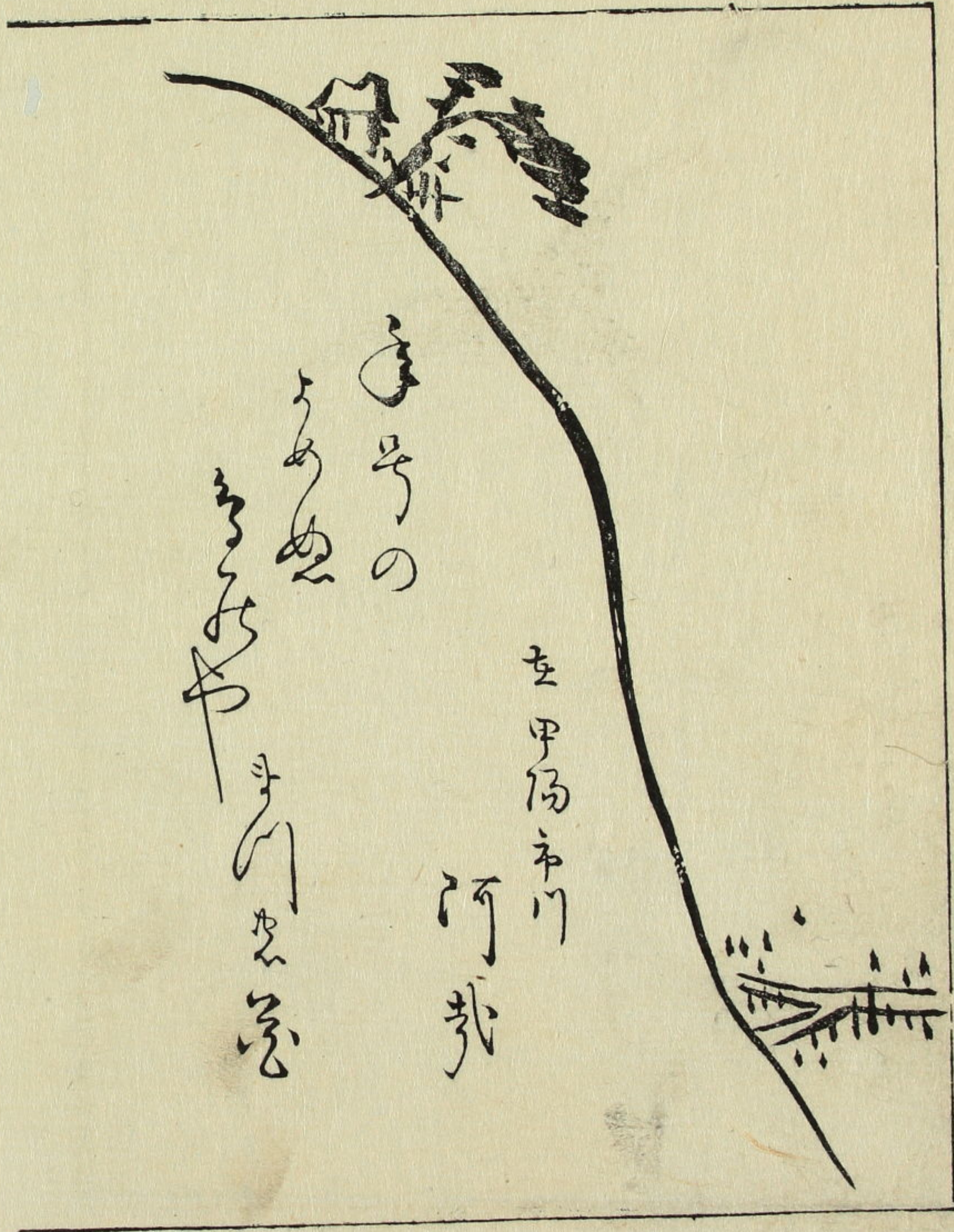
燕うら

在甲陽市川

以中

北息翁一蝶也

梅山翁写



在甲陽市川

河哉

舟の

うら

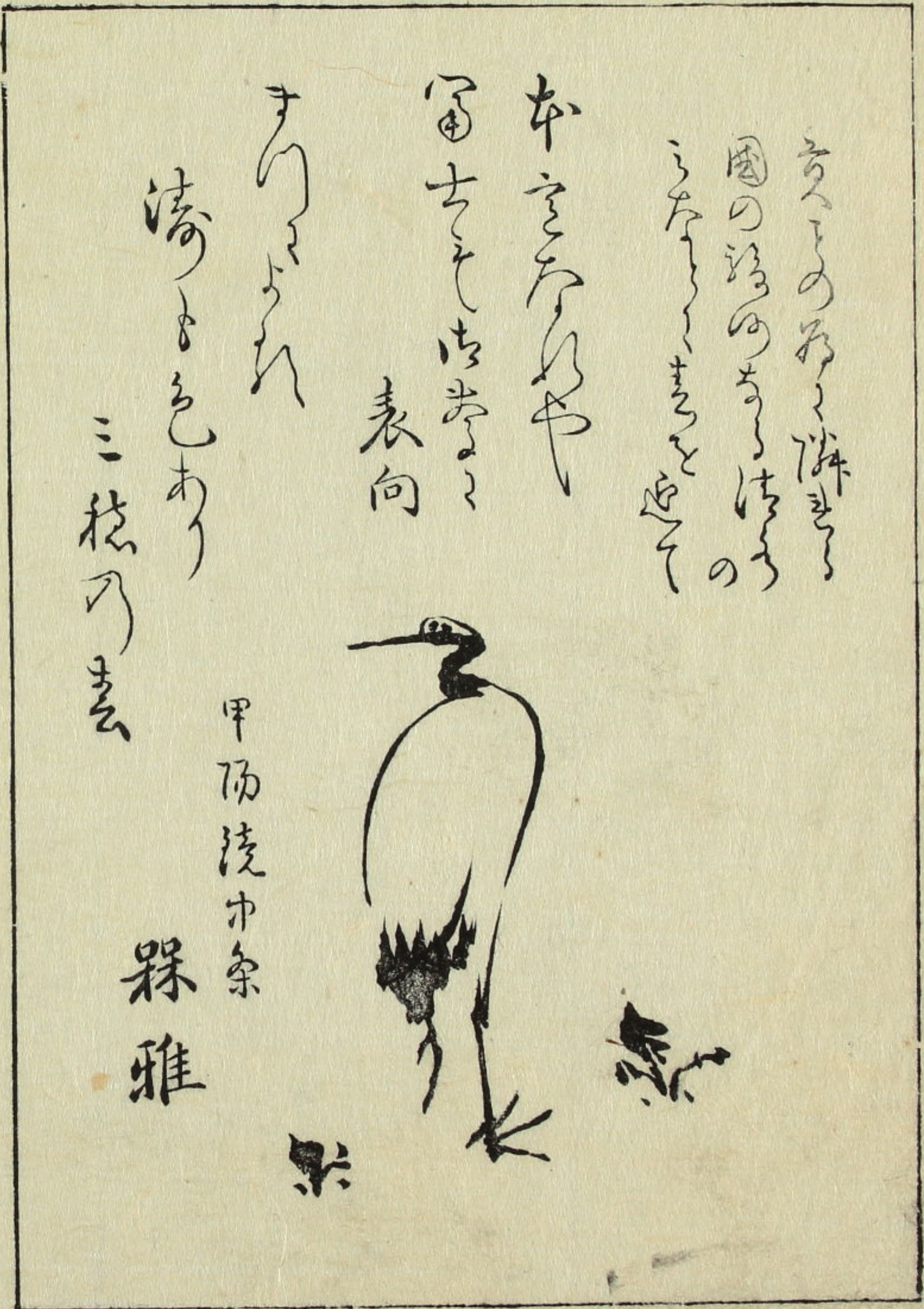
ま

まの



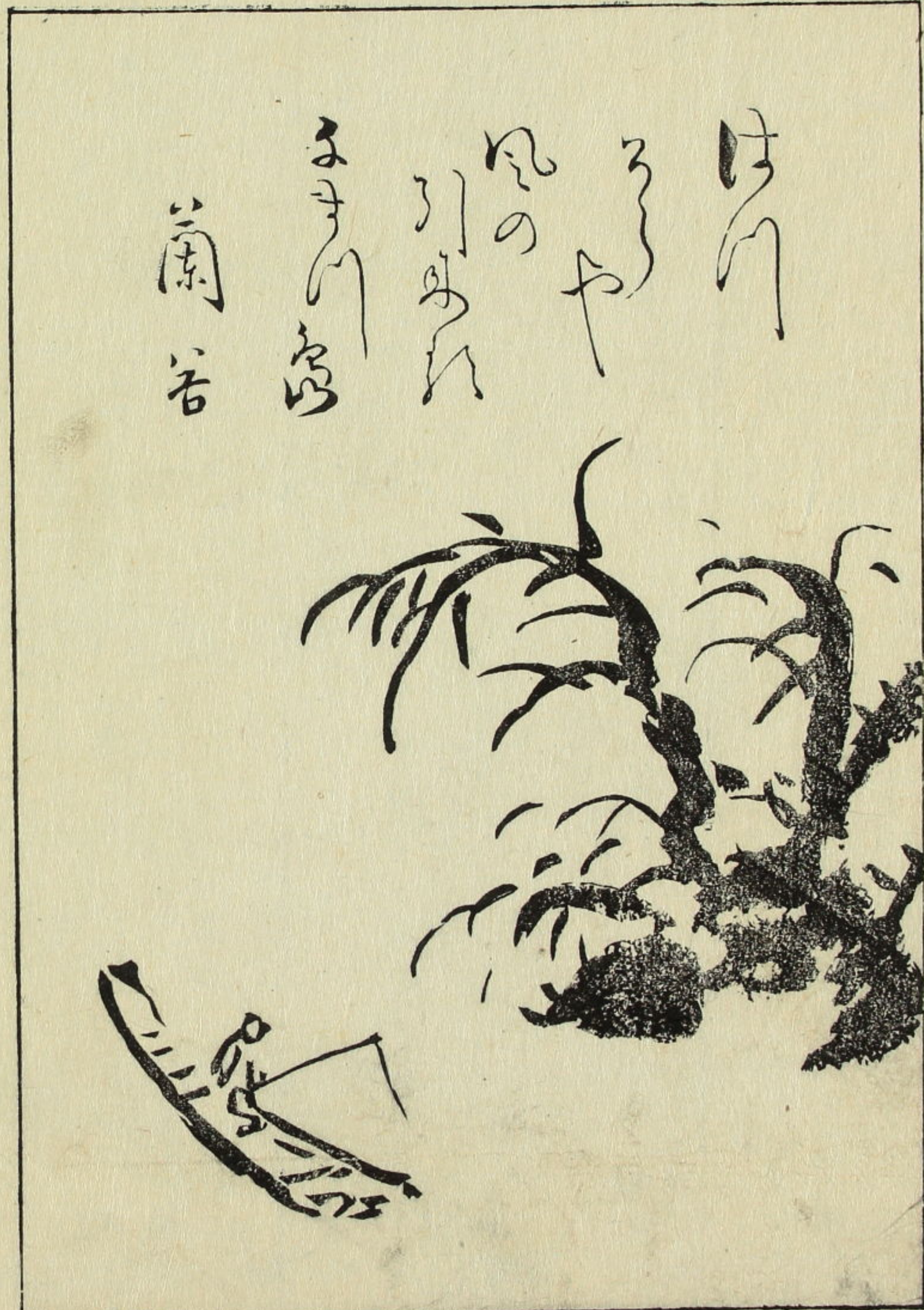


甲流中糸  
 文  
 三枝乃云  
 表向  
 本之なる也  
 富士も色あり

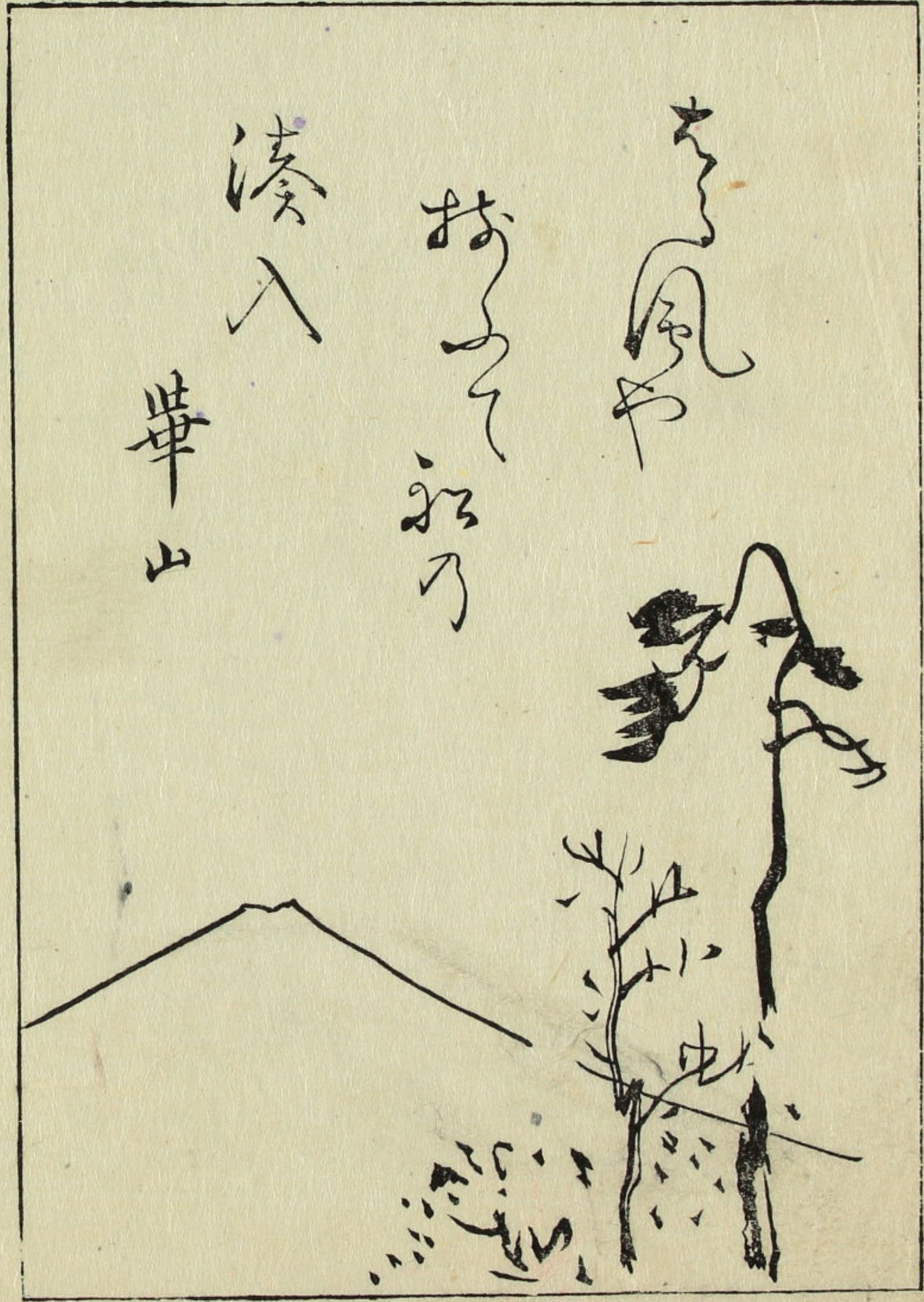
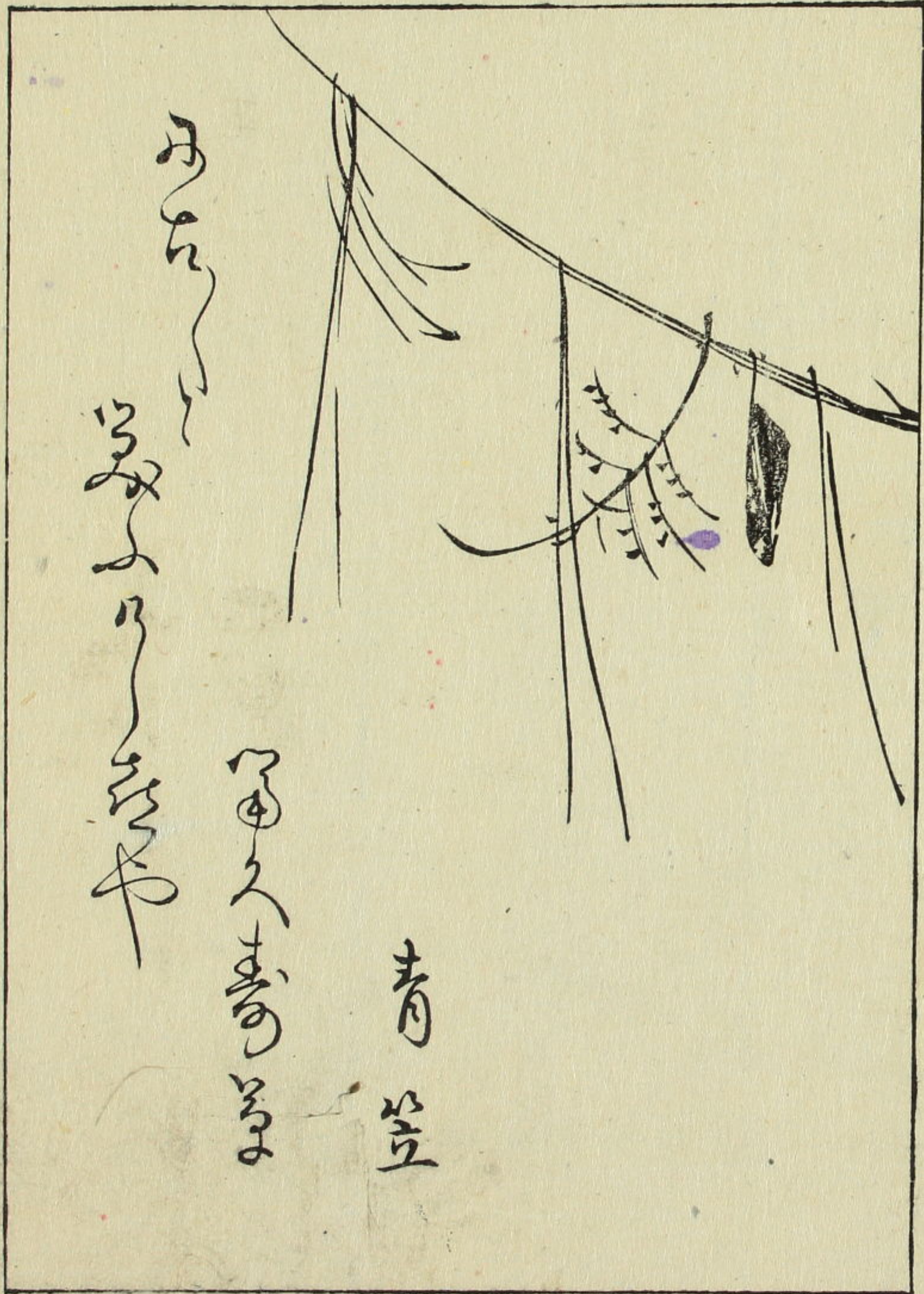


甲流中糸  
 三枝乃云  
 表向  
 本之なる也  
 富士も色あり











騎射馬

場

た〜ん

方

柳

風二



柳

紫

ま〜ん

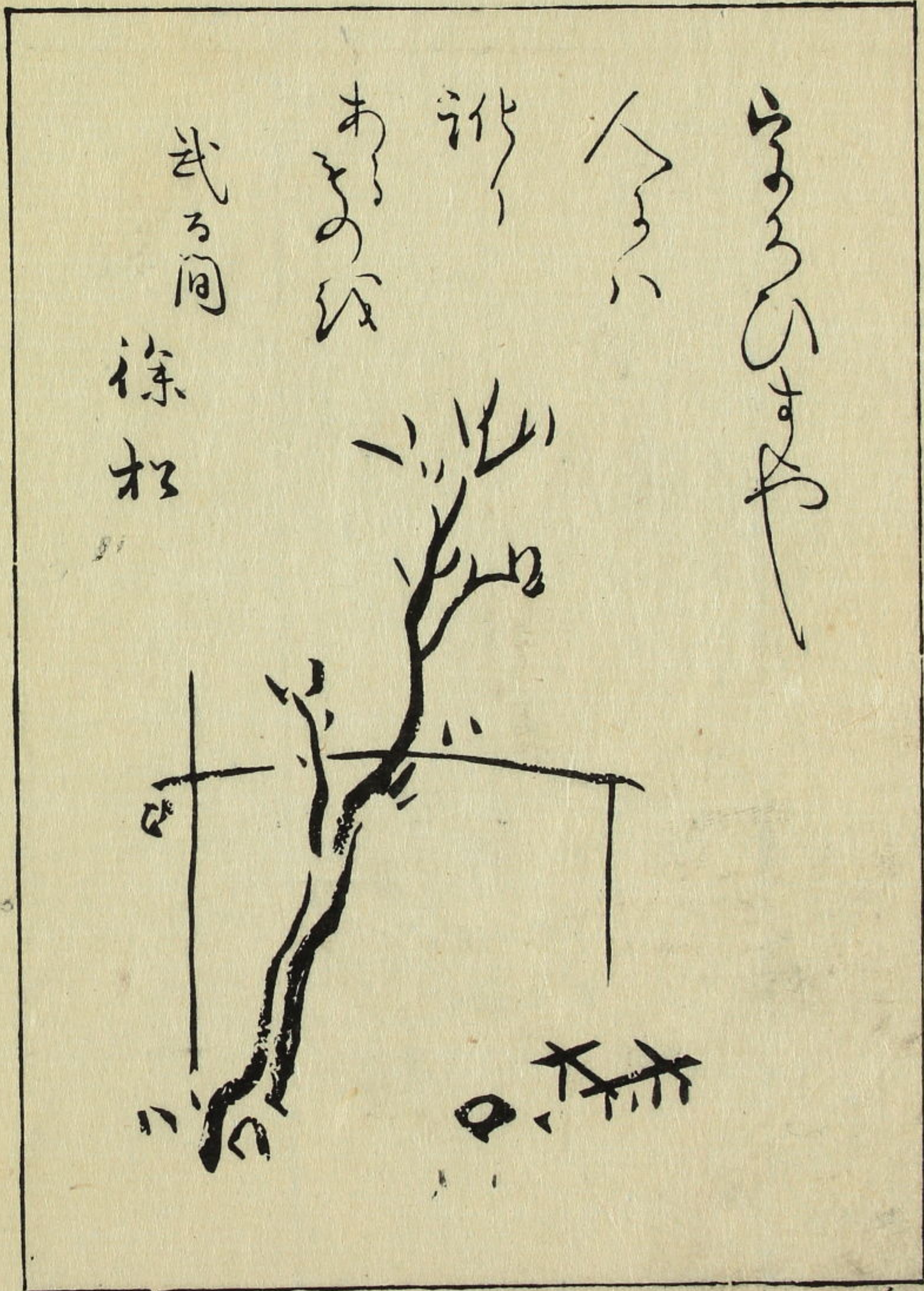
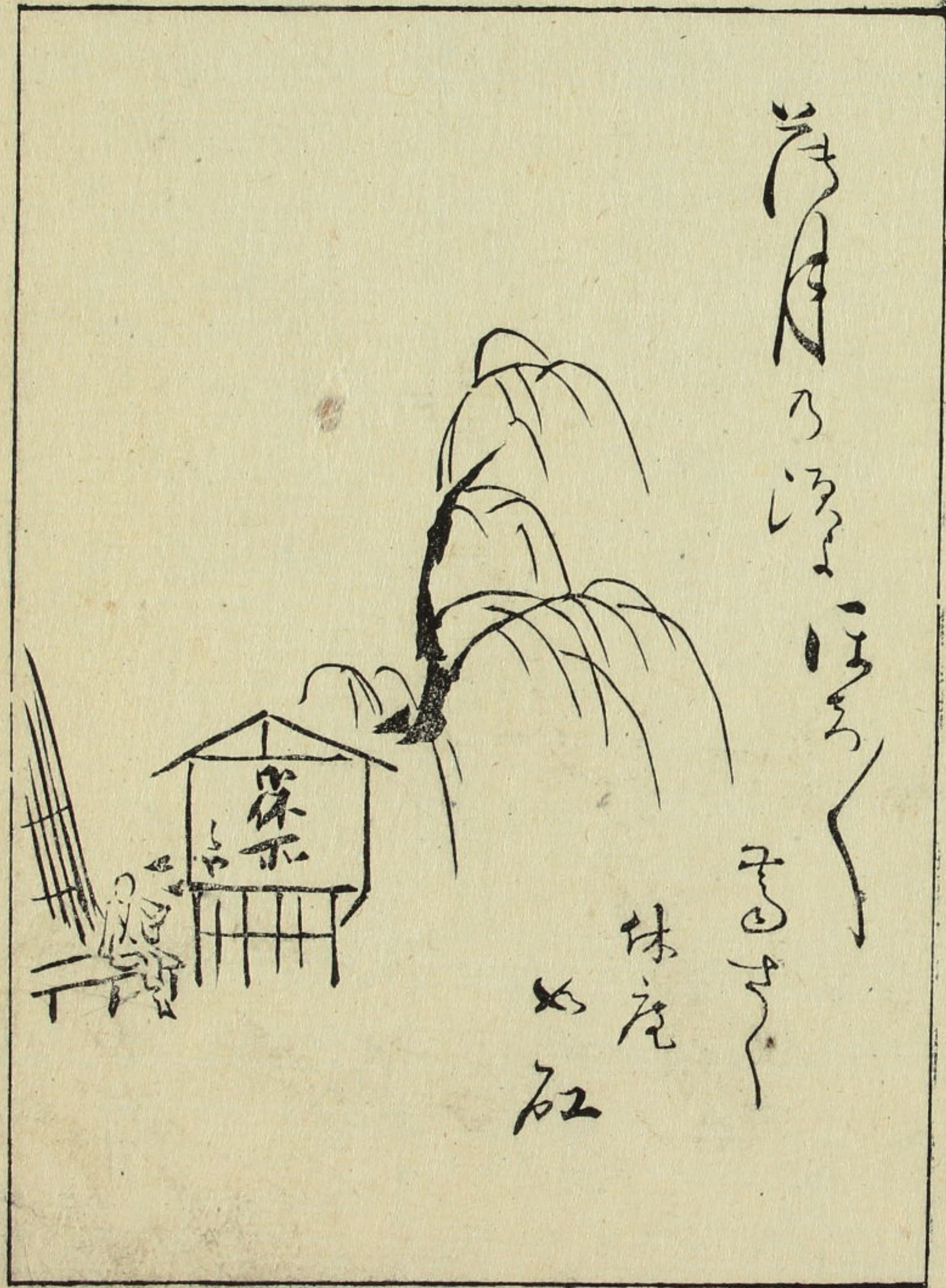
梅



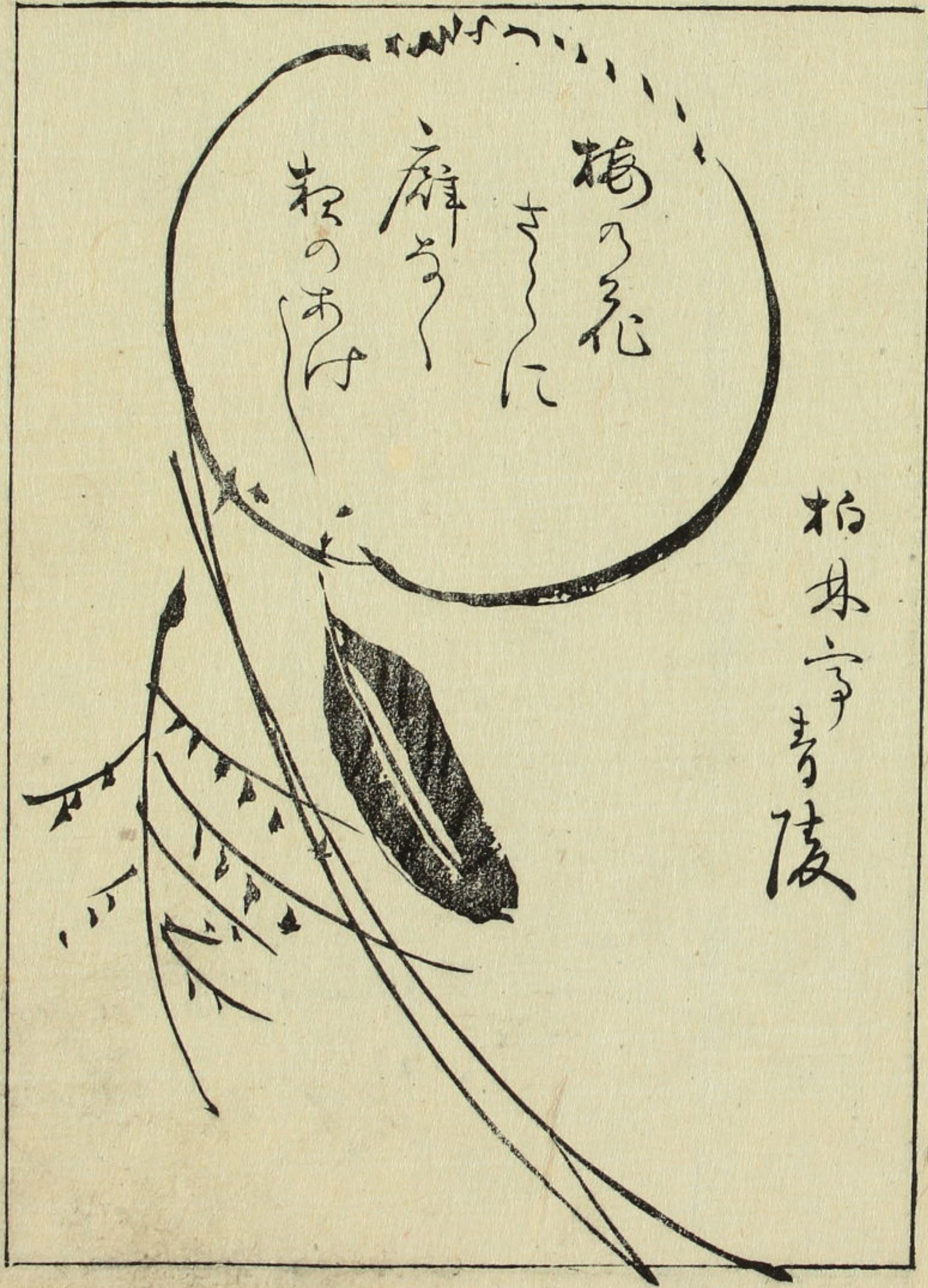
のち〜寺

梅

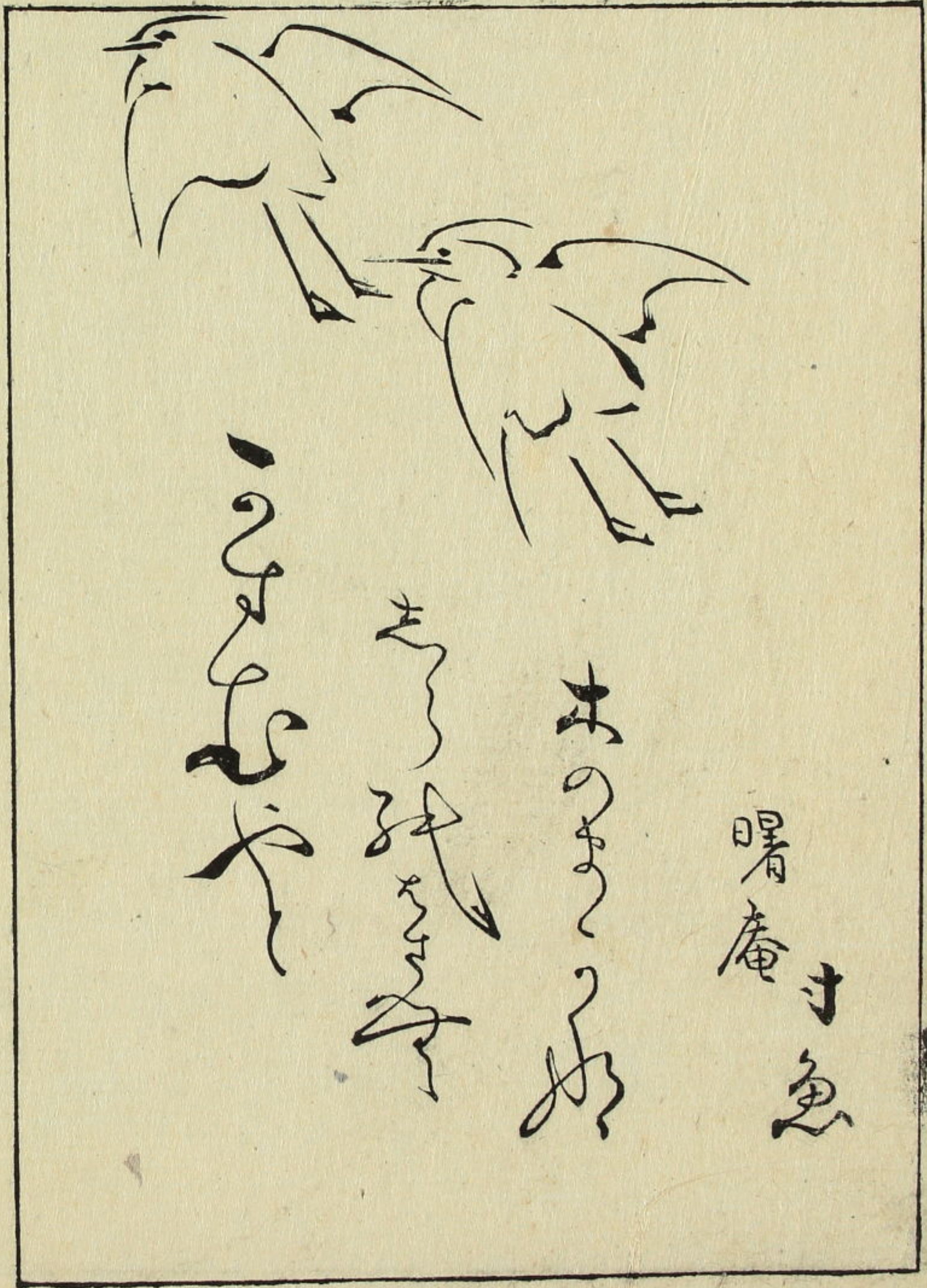








柏林亭  
青陵



九九





阿  
 著  
 湖  
 乃  
 二日冬  
 採掘菴  
 為宜



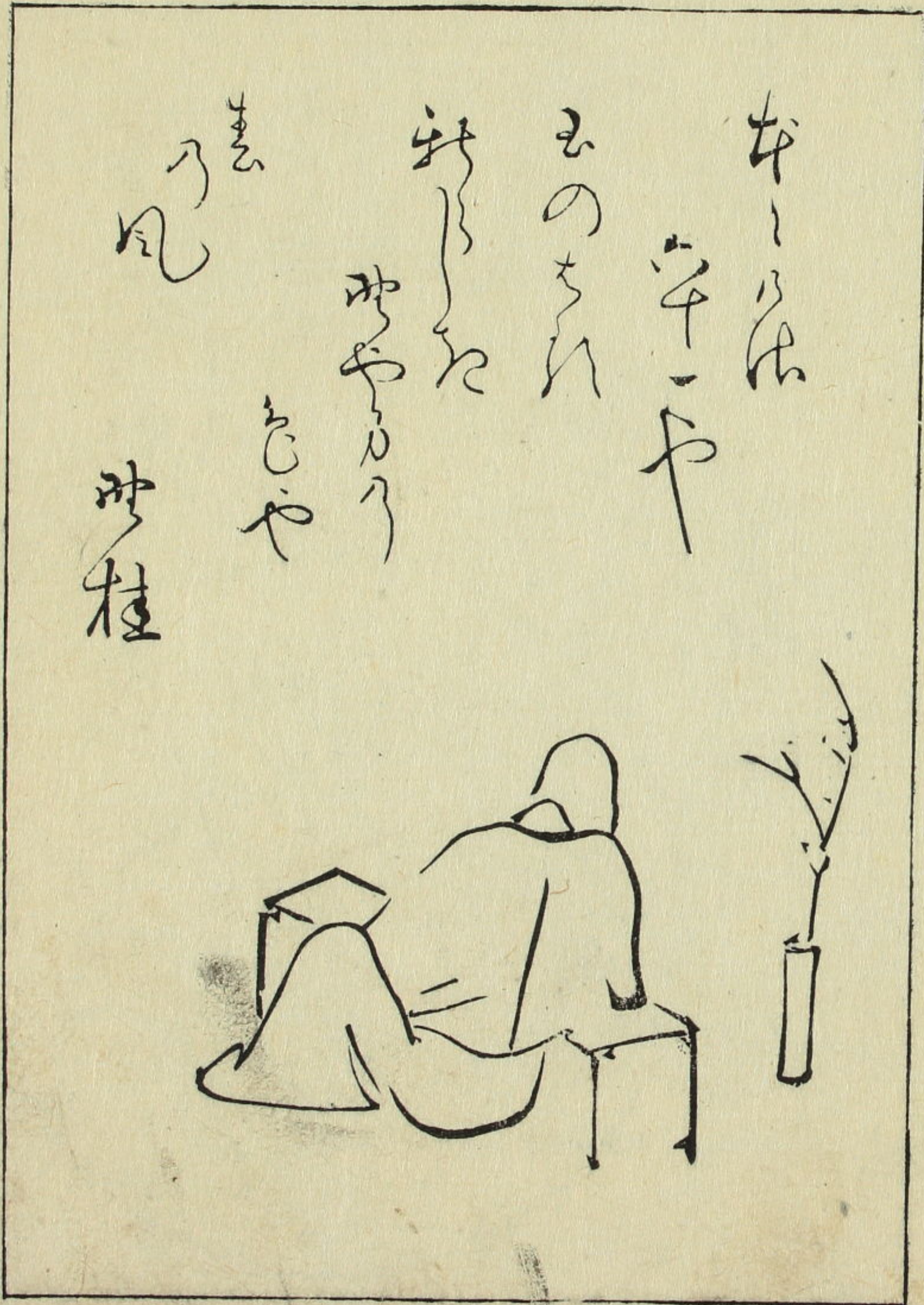
森の  
 花  
 染衣め

採掘菴

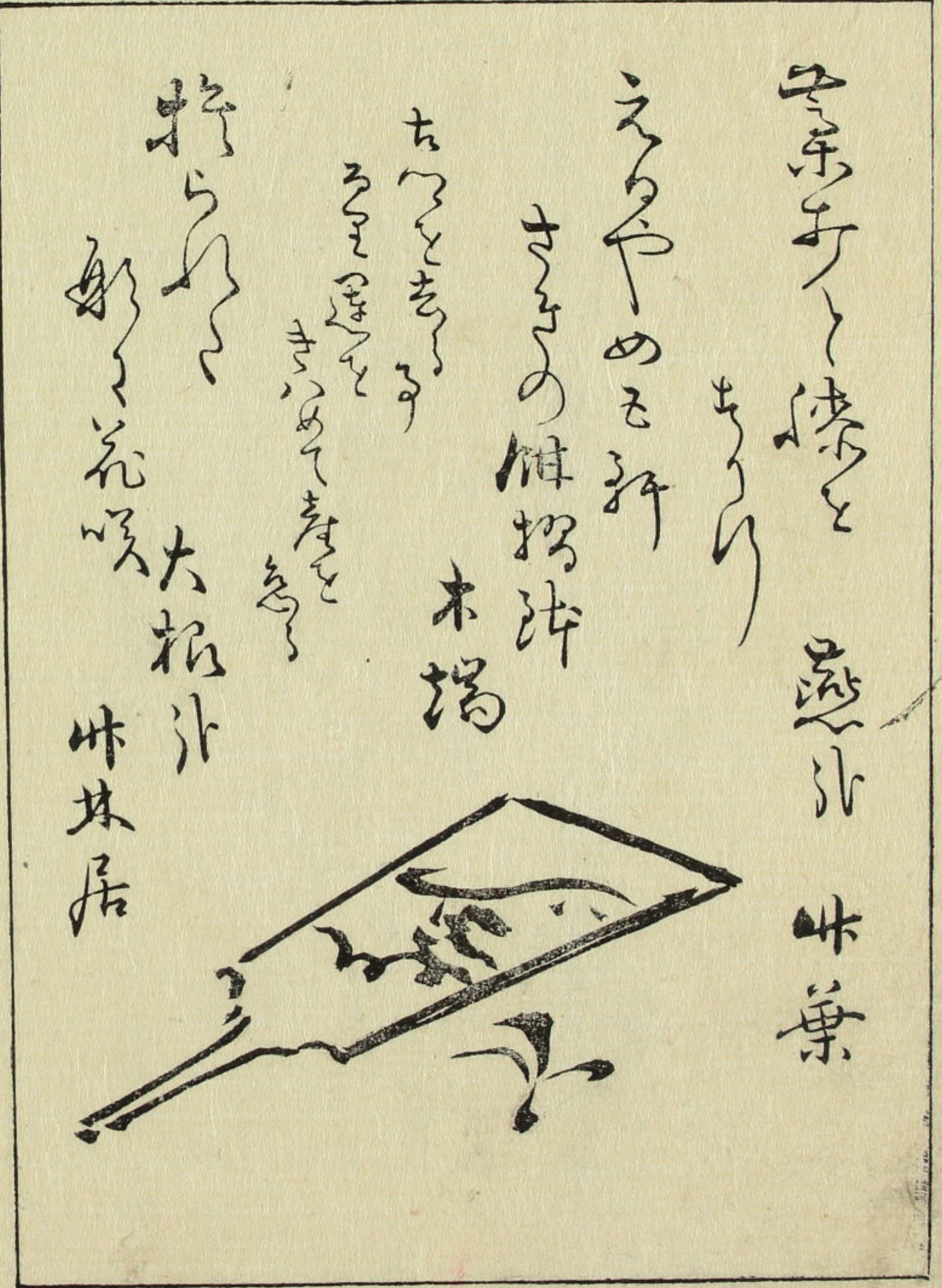








花のつぼ  
 玉のちり  
 新しむ  
 中むらう  
 ちや  
 風  
 妙柱



子来子へと  
 えらやめを新  
 古くをき  
 木端  
 大根汁  
 花咲  
 竹林居  
 葉  
 葉



浮くあて  
春雨や  
法中  
柳坡



えら...  
うら...  
の...  
は...  
あ...  
曳尾





不二の心

水角

發裁

水角

中風の物

恒若子

まじり

枯

深

史山



ハ

疎

巨明

小

乃

之

雄





諸國春光

雲心日ハシロシロ持のゑ山乃澄甲沙 不及  
 かきくせくえれハまゝあすまけ雪 嗽石  
 中川風ヤ表の海れあ〜〜西橋 保菜  
 雲網海山うけ〜一むろ〜二磨  
 わ、まや子のう〜端〜皆乃以紫京 眉風  
 雨乃塩様のま〜は〜茶と花、 神遊  
 花きけ〜〜を松乃〜〜歌雲  
 吹〜吹〜月形〜自ふ神路の梅、 思雲

汲ゆ〜〜を酒〜き服、柳赤妙山 仗石  
 十日祥終〜正月乃心地、足利 雀山  
 急〜、成〜〜甲府 青島  
 り〜〜〜成れハ短〜喜れ宵 青杏  
 酔の魚〜む〜〜あ〜喜乃旅 雪危  
 休〜〜〜あ〜〜陸奥 風香  
 冬〜の日をあ〜〜近江 雪紅  
 春乃雨の涼〜〜用防 枕錦  
 他念〜〜〜常陸 臥山



春乃より喜なしく山をゆくゝあう  
 ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜  
 這ふ時の〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜  
 存ふ〜梅も〜雪も〜雪も〜雪も〜  
 山は〜や〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜  
 鳩も〜雀も〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜  
 志あ〜ゆ〜ふ〜日〜初〜あ〜ぬ〜門〜柳〜  
 ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜

東都春色

甲谷村 花酔  
加賀 速雪  
信濃 越耳  
大坂 希遊  
伊勢 玉壺  
伊豆 呼々  
伊豆 麦風  
伊豆 音訂

味も〜や〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜  
 け〜ん〜甲〜乙〜乙〜乙〜乙〜乙〜乙〜  
 学〜や〜早〜起〜も〜せ〜の〜身〜果〜報〜  
 初〜〜家〜庭〜の〜〜う〜や〜若〜菜〜も〜  
 大〜木〜の〜〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜  
 富〜士〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜  
 狩〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜  
 〇  
 清〜状〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜  
 柳〜の〜宿〜

青果  
 青桃女  
 星山女  
 波京  
 波樂  
 波書  
 波草女  
 可来



井戸系碗  
豊の征路の寸  
井戸住馬の羽  
秋陣の豊に  
献す

おぬの扇くさくさや雲乃花  
豊風

雪や丸くく折れ仕付亭  
青麦

帝柱まゝ根の竹く小雨の如  
和示

うさいすくさく今せりう左り前  
永情

○

えらも竹くくさや井戸系えん  
洲島

いつくも枝乃くくさやく川蛙  
全

あけくく縁遊のせく宿乃春  
既破局

雀子乃居くく朝と朝やくく  
全

日乃折れくくく居くくく  
不老居

燕の小首かくくく草乃雨  
全

まゆ二日減くくく聖ハ巻抄らし  
雨月居

宇見くくくやまろくく我とくく  
全

○

弦きくくれハあさくくや梅の花  
茂城

藤くくく垣もいつくく木の子くく  
全

梅くく亭アくくく乃名ハ守くく  
青笠

照くく雪のや年の大隣  
全



新玉の庭よりや雲乃花  
 常やぬきけし仕付亭  
 帝姓より根のゆく小雨如  
 うまひすし今せりう左り前  
 ○  
 えらも竹ゆきや井戸系えん  
 いづも枝乃うきやう川蛙  
 あけりく縁遊りせり宿乃春  
 雀子乃居るも朝と朝やうき

豊風  
 青麦  
 和示  
 永情  
 非為  
 全  
 既破為  
 全

日乃抑れより居るもけり長  
 燕の小首かきけり草乃雨  
 半の二日減りよ聖の春抄らし  
 半更けりやきりよ我と中より  
 ○  
 弦きりきれハあるもや梅の花  
 藤くけ垣もいつを木の芽うか  
 梅と亭アそきり名ハ守りも  
 照く雪のや年の大隈

不老為  
 全  
 雨月為  
 全  
 茂城  
 全  
 青笠  
 全



蓮葉の子界をり〜り花の妻  
至峰

折〜〜子大を志や〜と柳〜つ水  
全

まひせり〜〜と〜〜初。新  
氷雪

田の神〜近道な〜二月水  
全

ほ〜〜さ〜心〜清〜〜初〜ま  
寄暢

〜〜〜〜と〜〜〜小鴨〜風  
全

松老れ〜〜〜も〜〜〜ら妻  
松木

〜〜〜〜月〜〜入〜〜ぬ〜寄〜書  
全

〜〜〜〜の〜〜〜初〜〜〜門〜〜  
雨青

〜〜〜お〜〜や〜蚕の子〜〜〜と〜妻  
全

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜り〜〜涼〜空  
青塘

小家〜も〜見〜込〜り〜う〜も〜松〜梅  
全

是も〜〜〜、不〜易の〜毛〜や〜門〜乃〜松  
翠山女

客〜取〜具〜り〜仕〜存〜日〜ハ〜な〜梅〜の〜宿  
全

〜〜〜揚〜〜物〜〜の〜人〜〜〜水〜市  
全

花〜も〜〜〜〜ら〜〜〜も〜〜〜ら〜〜涼〜空  
如妻女

竹〜道〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜ゆ〜隅〜田〜乃〜妻  
全

初〜〜〜〜家〜籠〜〜〜〜山〜の〜雪  
全



尊も梅も花風のふくやう  
子も花もさうさうさうさう  
人声のあうさうや春の飛鳥  
正月、望しついでに乳うめ  
少女浅  
翠女  
今  
今

○

摘みたるて家々わ、葉々  
きりりけり有の遠し  
恒毎と梅見と旅を五里三  
蝶とつと友あり春も雨さう日  
雪雄  
杉長  
蕉雨  
古塚

海雲のうきさうりう我家も  
うめ乃口を三日陰し菴の用  
帆がふさふさ松の葉色うさ  
草葉もさうさうさうさう乃雨  
松一突のうめさう割と梅さめ  
弄春  
淡島一とさうさうさうさう  
春雨さうさうさうさうさう  
沙越乃さうさうさうさう  
元風  
何丸  
盤布  
八朗  
松杜  
萬里  
民玉  
里丸



春の雁はつとて戻りてゆくか  
くま雪見浦島なにも交りゆく  
近き〜管〜た〜に〜音  
春雨の夕し〜居りれ去関音  
ま〜と〜とゆ〜満〜月  
た〜けの髪を揺るや春の風  
風乃尾〜つ〜動〜や山如雲

涉水

梅英

放あ

三交

萬産

萬青

浦曉

草の香や夢〜蝶〜恋〜と〜ハ

素雄

ほろ乃兩操は〜と〜暮〜り〜り  
遠霧野中〜古〜榎〜う〜形  
多湧や〜〜芥〜吸〜さ〜は〜ひ  
紫衣の心〜き〜道〜も〜若〜常〜非  
わ〜〜海を〜る〜定〜れ〜二〜月〜う〜形  
春鳥や〜為〜糸〜味〜よ〜と〜聲〜同  
母の形乃愚〜言〜〜お〜ら〜月  
啼〜〜ハ〜氣〜〜い〜〜冬〜喜〜の〜鳥  
空〜〜詩〜〜な〜〜ぬ〜春〜乃〜月

道耳

萬化

三市

菊露

妙我

渭泉

渭橋

子未

三我



○  
今朝より晴む家ハな〜初鳥  
梅白〜茶うけ〜竹を啜るを  
神鳴の落こさ〜ち〜蛙  
盆乃友〜せん〜の〜胡蝶  
か〜ぬ〜の〜らん〜草  
忌草〜花〜ゆ〜旅〜那  
乙鳥〜あ〜門のす〜

寒禽  
老驥  
知足  
雪彦  
風馬  
仙李  
寒盛

あ〜〜〜ち〜  
春〜梅  
春浅〜水〜花  
雨晴の雪若う〜  
鷄乃今〜ち〜雪  
江命乃〜二月外  
多〜  
草溜〜れ〜人

蘭山  
李月  
景天  
徒秀  
祇峰  
赤雲  
素雅  
芦月

○



鶯やけりてすく 春の身成はるふ  
 松杉ハハヤ 地月をめぐり 月夜に  
 船乃窓にけり 春の梅乃月  
 梅の車いひつゝ 不二をめぐり 日北  
 雨あ乃旅ハ 春の福壽草  
 雀子ハ海を辞し 春の待川

待川  
 起一  
 漁樂  
 遠文  
 井抄  
 風首

春乃旅の夢を 春の雪抄  
 春の字ハ 春の梅乃花  
 古友  
 橘寸

席杖や一ふ 春の多し  
牛久保抄  
 閑月

夜乃梅をぬき 春の近し  
 起ききき 春の宿の春  
 白梅乃 春の夕暮  
 鶯の字ハ 春の遊心  
 春あつりの雲ハ 春の雨  
 法華酒や 春の雨  
 鈴乃 春の雨

仙歌  
 左禁  
 木之  
 風軌  
 木五  
 累五  
 涼菴



○

舟の楫や 只と矢之の筆を  
葉を 花よりかを 焚くを 茶葉烟  
二日 一とふな 梅の月

○

若草や りふりの 京泉 川  
おろろ 水や 川へ ちやも けり

大尾

遊ふりを 披く 古くも  
九千里の 遊も 越り 年の 浪

魚雲  
九十一章  
寺峰

四三

波静  
茶鴎  
文呂

寺古  
東川

舟と 疾く 渡す 人あり 一の 流

柳六

色む 糸や 年の らら 梅 棹

松平

沖の 灯乃 窓 深き 鬼や 山

如山

子と 遊く 流る 水 ちや 水 豆

瓶波

丁と 芥き ちりり 木 山

義叶

行と のと 舟も 池の 鴎 登

老鴎

鈴 舟 ちや 海 舟 行 渡

竹夢

我との 道と 舟も 茶葉 竹 賣

金鳩

波 舟 ちや 年の 市 袋

波江

四四



芭蕉翁

時雨會

正當 十月十一日於深川長慶寺

涼菟居士

團友忌

四月十八日於自庵

麦林居士

秋風忌

八月十八日全

柳居士

會

五月卅日於淺草東國寺

卷阿居士

梅花筵

正月十三日於自庵

尺五居士

霜菊集

十月廿日於甲府瑞岩寺

貫阿居士

秋蓮忌

七月十二日於自庵

青坡居士

拾柴會

十一月十九日全





